

オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント 管理サイト ユーザーマニュアル Android

最終更新日 2018 年 9 月 14 日

株式会社オプティム
(c)東日本電信電話株式会社

1	はじめに	4
2	Android	5
2.1	設定テンプレート	6
2.1.1	設定テンプレート画面を表示する	6
2.1.2	デフォルトの設定テンプレートを指定する	7
2.1.3	(所属組織に従う)をデフォルトに設定する	8
2.1.4	設定テンプレートの入力値	8
2.2	エージェント共通管理	9
2.2.1	エージェント共通管理画面を表示する	9
2.2.2	エージェント共通管理を編集する	10
2.2.3	エージェント共通管理の入力値	11
2.3	エージェント個別管理	12
2.3.1	エージェント個別管理画面を表示する	12
2.3.2	エージェント個別管理の設定セット入力値	13
2.4	位置情報管理	14
2.4.1	位置情報管理画面を表示する	14
2.4.2	位置情報管理の設定セット入力値	15
2.5	App Manager	16
2.5.1	App Manager 表示設定画面を表示する	16
2.5.2	App Manager 表示設定を編集する	17
2.5.3	App Manager 表示設定の入力値	17
3	Android- 使用制限	18
3.1	アプリケーション禁止	19
3.1.1	アプリケーション禁止画面を表示する	19
3.1.2	対象アプリケーション一覧をインポートする	22
3.1.3	対象アプリケーション一覧をエクスポートする	22
3.1.4	アプリケーション禁止の設定セット入力値	23
3.2	SD カード	25
3.2.1	SD カード画面を表示する	25
3.2.2	SD カードの設定セット入力値	26
3.3	カメラ	27
3.3.1	カメラ画面を表示する	27
3.3.2	カメラの設定セット入力値	28
3.4	Bluetooth	29
3.4.1	Bluetooth 画面を表示する	29
3.4.2	Bluetooth の設定セット入力値	30
3.5	スクリーンロック	31
3.5.1	スクリーンロック画面を表示する	31
3.5.2	スクリーンロックの設定セット入力値	34
3.6	リモートロック	36
3.6.1	リモートロック画面を表示する	36
3.6.2	リモートロックの設定セット入力値	37
3.7	リモートワイプ	38
3.7.1	リモートワイプ画面を表示する	38
3.7.2	リモートワイプの設定セット入力値	39
3.8	Wi-Fi フィルタリング	40
3.8.1	Wi-Fi フィルタリング画面を表示する	40
3.8.2	Wi-Fi フィルタリングの設定セット入力値	41
3.9	発信先制限	42
3.9.1	発信先制限画面を表示する	42
3.9.2	発信先をインポートする	43
3.9.3	発信先をエクスポートする	43
3.9.4	発信先制限の設定セット入力値	43
3.10	アプリケーション検知	44
3.10.1	アプリケーション検知画面を表示する	44
3.10.2	アプリケーション検知の設定セット入力値	45
4	Android- ウイルス対策ソフト	46
4.1	ウイルス対策機能	47
4.1.1	ウイルス対策機能画面を表示する	47

4.1.2	ウイルス対策機能の設定セット入力値	49
5	Android - セットアップ	50
5.1	アプリケーション配信	51
5.1.1	アプリケーション配信画面を表示する	52
5.1.2	アプリケーション配信の設定セット入力値	53
5.2	Wi-Fi	54
5.2.1	Wi-Fi 画面を表示する	54
5.2.2	Wi-Fi の設定セット入力値	56
5.3	連絡先	57
5.3.1	連絡先画面を表示する	57
5.3.2	連絡先の設定セットを新規作成する	58
5.3.3	設定セットに連絡先一覧を登録する	58
5.3.4	連絡先一覧をインポートする	59
5.3.5	連絡先一覧をエクスポートする	59
5.3.6	連絡先の設定セット入力値	60
5.4	暗号化	61
5.4.1	暗号化画面を表示する	61
5.4.2	暗号化の設定セット入力値	62
5.5	コンテンツ配信	63
5.5.1	コンテンツ配信画面を表示する	63
5.5.2	コンテンツ配信状況を確認する	67
5.5.3	コンテンツ配信の設定セット入力値	67
5.6	コンテンツ配信ポリシー	68
5.6.1	コンテンツ配信ポリシー画面を表示する	68
5.6.2	コンテンツ配信ポリシーの入力値	70
6	Android - Device Owner Mode(DOM)	72
6.1	NFC キットティング設定	73
6.1.1	NFC キットティング設定画面を表示する	73
6.1.2	NFC キットティング設定の入力値	74
6.2	セキュリティ設定(DOM)	75
6.2.1	セキュリティ設定(DOM)画面を表示する	75
6.2.2	セキュリティ設定(DOM)の入力値	77

1 はじめに

本マニュアルは、管理サイトのメニュータブで Android 機器に対して独自に提供している機能のマニュアルです。Android 機器に対して独自に提供している機能は以下のとおりです。

2 Android

本製品が Android 機器に対して独自に提供している機能の設定および、設定セットを作成します。「エージェント共通管理」、「App Manager」に関しては、設定を保存した時点で、すべての Android 機器に対して適用されます。設定セットの作成ではありません。「設定テンプレート」、「エージェント個別管理」、「位置情報管理」に関しては、設定セットの作成となります。作成した設定セットは一括機器設定および、機器ごとの設定にて適用してください。作成可能な設定セットは以下のとおりです。

設定項目名	ページ
設定テンプレート	6
エージェント共通管理	9
エージェント個別管理	12
位置情報管理	14
App Manager	16

2.1 設定テンプレート

設定テンプレートは複数の設定セットを1つにまとめたものです。設定テンプレートを適用すると含まれるすべての設定セットが適用されるため、機能ごとに設定セットを指定する必要はありません。頻繁に利用する設定セットを設定テンプレートとしてまとめておくことで、操作負荷を軽減させることができます。作成した設定テンプレートは、組織ごとまたは機器ごとの設定にて適用してください。

※設定テンプレートを一括して複数の機器に適用することはできません。

※設定が機器に反映されるまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存します。

2.1.1 設定テンプレート画面を表示する

設定テンプレート画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [設定テンプレート]をクリックします。



項番	対象	説明
1	[新規作成]	クリックすると新規作成画面が表示されます。
2	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・全てにチェックを入れる：全ての設定テンプレートのチェックボックスにチェックが入ります。 ・全てのチェックをはずす：全ての設定テンプレートのチェックボックスからチェックをはずします。 ・一括削除：チェックの入った設定テンプレートを削除します。
3	設定テンプレート一覧	登録されている設定テンプレート一覧が表示されます。
4	設定テンプレート情報	選択した機能により画面が切り替わります。設定テンプレート一覧より選択した設定テンプレート情報が表示されます。
5	テンプレート名	設定テンプレートの名称を指定します。
6	設定	設定テンプレートに含める設定セットを作成済みの設定セットより指定します。
7	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・複製：設定テンプレートを複製します。 ・削除：設定テンプレートを削除します。 ※管理者権限の場合は、サービス企業が作成した設定テンプレートでも[操作]タブが表示されます。
8	[編集]	登録されている設定テンプレート情報を編集することができます。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

2.1.2 デフォルトの設定テンプレートを指定する

デフォルトの設定テンプレートを指定します。デフォルト設定テンプレートは、機器がライセンス認証されたときに自動的に適用されます。機器に自動適用する設定を指定してください。

1. 設定テンプレート一覧より対象とする設定テンプレートの[デフォルトに設定する]をクリックします。


※デフォルトに設定可能な設定テンプレートは1つのみです。

※既にライセンス認証されている機器には適用されません。デフォルト設定テンプレートの指定後にライセンス認証される機器のみに適用されます。

※デフォルトに設定した設定テンプレートは、一覧の上部に移動します。

2.1.3 (所属組織に従う)をデフォルトに設定する

(所属組織に従う)をデフォルトに設定します。機器がライセンス認証されたときに所属組織に従った設定が自動的に適用されます。デフォルトの設定テンプレートが設定されていない場合は、(所属組織に従う)が自動的にデフォルトに設定されます。

1. 設定テンプレート一覧の上部にある[その他の操作]  をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
2. [(所属組織に従う)をデフォルトにする]をクリックします。
3. 確認画面で[OK]をクリックします。

※既にライセンス認証されている機器には適用されません。本機能指定後にライセンス認証される機器のみに適用されます。

2.1.4 設定テンプレートの入力値

設定テンプレートでは以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【テンプレート名】	設定テンプレートの名称を指定します。1文字～30文字で入力してください。
【設定】	設定テンプレートに含める設定セットを作成済みの設定セットより指定します。なお、含めた設定セットに対する編集および削除は、設定テンプレートにも自動的に反映されます。

2.2 エージェント共通管理

機器にインストールされている、全ての Android エージェントに対して共通するルール設定を行うことができます。設定を保存した時点で、すべての Android 機器に対して適用されます。

※設定が機器に反映されるまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存します。

※サーバーとの通信間隔や端末の通信状態などによりバッテリー消費に影響があります。

2.2.1 エージェント共通管理画面を表示する

エージェント共通管理画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [エージェント共通管理]をクリックします。

The screenshot shows the 'エージェント共通管理' (Agent Common Management) screen. It has a title bar at the top. Below the title bar, there are six numbered callouts pointing to specific settings:

- 1. 管理サーバーとの通信間隔
分数指定: 30分
- 2. 管理サーバーと通信できなかった場合
なにもしない
- 3. ロックメッセージ
(なし)
- 4. リモートロックの解除コード
[Redacted]
- 5. 端末でのエージェント停止・ライセンス解除・アンインストールの制限
パスワードの入力: [Redacted]
- 6. root化状態検知
検知する

At the bottom left of the screen, there is a button with a pencil icon and the text '編集' (Edit).

項番	対象	説明
1	管理サーバーとの通信間隔	管理サーバーと端末の通信間隔を指定分数、指定時間、指定日数で入力し、設定することができます。初期設定では 30 分に設定されています。
2	管理サーバーと通信ができなかった場合	Android 端末を紛失し管理サーバーと通信ができなくなった場合のため、入力した指定分数、指定時間、指定日数後、Android 端末をロックすることができます。初期設定では「なにもしない」に設定されています。
3	ロックメッセージ	ロック中の Android 端末の画面にお好きなメッセージを表示させることができます。(最大文字数は 200 文字です) 初期設定ではメッセージは登録されていません。 ※メッセージ表示時、入力されたメッセージの前後にある空白は削除されます
4	リモートロックの解除コード	リモートロックの解除コードを設定します。Android 端末に解除コードを入力することでリモートロックを解除することができます。 ※管理サイトからもリモートロックを解除することができます。初期設定ではランダムな 8 文字のパスワードが設定されています。 ※Android 5.0 以降の端末は「使用履歴にアクセスできるアプリ」が許可されていない場合、端末に解除コードを入力してもリモートロックを解除することができません。その場合は、管理サイトよりリモートロック解除を行ってください。
5	端末でのエージェント停止・ライセンス解除・アンインストールの制限	Android 端末でライセンスを解除する場合や、エージェントをアンインストールする場合に、パスワードを要するか設定することができます。 ・制限なし：パスワードを入力せずにライセンス解除やアンインストールすることができます。 ・パスワードの入力：ライセンス解除やアンインストールする際にパスワードの入力が必要となります。初期設定ではランダムな 8 文字のパスワードが設定されています。
6	root 化状態検知	検知しない：Android 端末の root 化状態の検知を行いません。 検知する：Android 端末に root 化するアプリケーションがインストールされている場合検知を行います。

2.2.2 エージェント共通管理を編集する

エージェント共通管理を編集します。入力項目に関しては、「エージェント共通管理の入力値」11 ページを参照してください。

1. エージェント共通管理画面を表示します。
2. [編集]をクリックします。
3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

2.2.3 エージェント共通管理の入力値

エージェント共通管理では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【管理サーバーとの通信間隔】	<p>機器が管理サーバーと定期的に同期する間隔を指定します。 以下より選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分数指定：指定した分数間隔で同期を行います。分数を合わせて指定します。分数指定を選択時は入力必須です。半角数字のみ入力できます。10 以上 59 以下で入力してください。 ・ 時間指定：指定した時間間隔で同期を行います。時間を合わせて指定します。時間指定を選択時は入力必須です。半角数字のみ入力できます。1 以上 23 以下で入力してください。 ・ 日数指定：指定した日数間隔で同期を行います。日数を合わせて指定します。日数指定を選択時は入力必須です。半角数字のみ入力できます。1 以上 365 以下で入力してください。
【管理サーバーと通信できなかった場合】	<p>管理サーバーと機器が同期できなかった場合に機器にリモートロックを行うことが可能です。リモートロックを行うまでの猶予時間を指定してください。 以下より選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なにもしない：リモートロックを行いません。 ・ 指定分数後にロック：指定分数経過後に機器をリモートロックします。分数を合わせて指定します。分数指定を選択時は入力必須です。半角数字のみ入力できます。10 以上 59 以下で入力してください。 ・ 指定時間後にロック：指定時間経過後に機器をリモートロックします。時間を合わせて指定します。時間指定を選択時は入力必須です。半角数字のみ入力できます。1 以上 23 以下で入力してください。 ・ 指定日数後にロック：指定日数経過後に機器をリモートロックします。日数を合わせて指定します。日数指定を選択時は入力必須です。半角数字のみ入力できます。1 以上 365 以下で入力してください。
【ロックメッセージ】	<p>リモートロックした機器の画面にメッセージを表示することができます。表示するメッセージを入力してください。200 文字以内で入力してください。制御文字の入力はできません。 ※空白類(タブ、改行等)は入力できます</p>
【リモートロックの解除コード】	<p>リモートロックの解除コードを指定します。入力必須です。4 文字以上 20 文字以内で入力してください。半角英数字のみ入力できます。</p>
【端末でのエージェント停止・ライセンス解除・アンインストールの制限】	<p>機器側でエージェント停止・ライセンス解除・アンインストールを行う際の制限を指定します。 以下より選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 制限なし：制限を設けません。 ・ 解除コードの入力：パスワードを指定します。機器側でエージェント停止・ライセンス解除・アンインストールを行う際、パスワードが要求されます。解除コードの入力を選択時はパスワードは入力必須です。4 文字以上 20 文字以内で入力してください。半角英数字のみ入力できます。
【root 化状態検知】	<p>root 化状態検知を行うかどうかを指定します。root 状態検知とは、root 化された Android 機器を検知する機能です。検知した場合はログに出力されます。また、機器画面の機器タブにて確認することが可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検知しない：root 化状態検知を行いません。 ・ 検知する：root 化状態検知を行います。

2.3 エージェント個別管理

Android エージェントに対する Push 通知利用に関する設定セットを作成します。当設定セットを用いることで、Push 通知の利用可否を制御することが可能です。作成した設定セットは一括機器設定および、機器ごとの設定にて適用してください。

※エージェント個別管理が未設定の場合は、Push 通知を「利用する」に設定した場合と同様の扱いとなります。

※一括機器設定に関しては以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 機器」の「機器ー一括機器設定ー一括して複数の機器に設定セットを適用する」

※機器ごとの設定に関しては以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作ー機器ー設定ー単一の機器に設定テンプレートを適用する」

2.3.1 エージェント個別管理画面を表示する

エージェント個別管理画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [エージェント個別管理]をクリックします。



項番	対象	説明
1	[新規作成]	クリックすると設定入力欄が表示されます。
2	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・全てにチェックを入れる：全ての設定セットのチェックボックスにチェックが入ります。 ・全てのチェックをはずす：全ての設定セットのチェックボックスからチェックをはずします。 ・一括削除：チェックの入った設定セットを削除します。
3	設定セット一覧	登録されている設定セット一覧が表示されます。
4	設定セット情報	設定セット一覧より選択した設定セット情報が表示されます。
5	設定名	設定セットの名称を指定します。
6	Push 通知	Push 通知の利用可否を指定します。
7	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・複製：設定セットを複製します。 ・削除：設定セットを削除します。
8	[編集]	登録されている設定セット情報を編集することができます。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作ー設定セット作成方法」を参照してください。

2.3.2 エージェント個別管理の設定セット入力値

エージェント個別管理では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	設定セットの名称を指定します。1 文字～30 文字で入力してください。
【Push 通知】	Push 通知の利用可否を指定します。 ・ 利用する：Push 通知を利用します。 ・ 端末が Wi-Fi 接続時は利用しない：Push 通知を利用します。ただし、Wi-Fi 接続時は利用しません。 ・ 利用しない：Push 通知を利用しません。

2.4 位置情報管理

Android 端末の位置情報取得方法を設定することができます。当設定セットを用いることで、位置情報取得時の測位を制御することが可能です。作成した設定セットは一括機器設定および、機器ごとの設定にて適用してください。

※一括機器設定に関しては以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 機器」の「機器―一括機器設定―一括して複数の機器に設定セットを適用する」

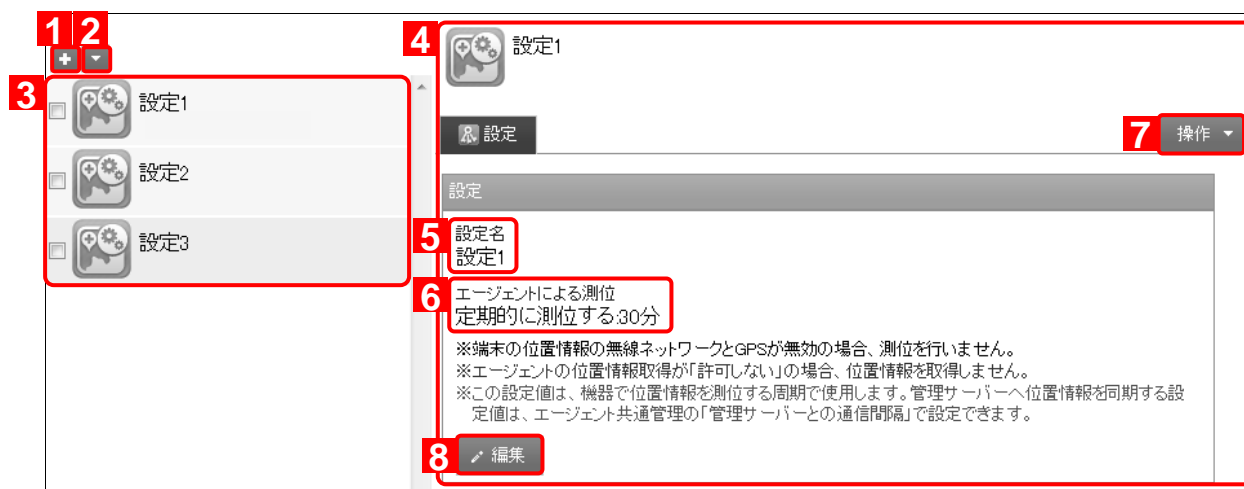
※機器ごとの設定に関しては以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作―機器―設定―単一の機器に設定テンプレートを適用する」

2.4.1 位置情報管理画面を表示する

位置情報管理画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [位置情報管理]をクリックします。



項番	対象	説明
1	[新規作成]	クリックすると設定入力欄が表示されます。
2	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全てにチェックを入れる：全てのチェックボックスにチェックが入ります。 ・ 全てのチェックをはずす：全てのチェックボックスからチェックをはずします。 ・ 一括削除：チェックの入った位置情報管理設定を削除します。
3	設定セット一覧	登録されている設定セット一覧が表示されます。
4	設定セット情報	設定セット一覧より選択した位置情報管理設定情報が表示されます。
5	設定名	お好きな名前を入力します。
6	エージェントによる測位	エージェントによる位置情報の測位タイミングを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 測位しない：管理サイトから「同期」を指示した場合のみ測位します(契機 1)。 ・ エージェントの起動時のみ測位する：契機 1 及び、エージェントの起動時、端末の起動時に測位を行います(契機 2)。 ・ 定期的に測位する：契機 1・2 に加え、測位するタイミングを分数指定、時間指定、日数指定から選択できます。 ※位置情報の詳細は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－機器－位置(Android/iOS/Windows 機器のみ)」を参照してください。 ※Android8 の場合は、管理サイトで測位タイミングを設定しても 1 時間に 1 回程度の取得に制限されます。
7	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 複製：位置情報管理設定を複製します。 ・ 削除：位置情報管理設定を削除します。
8	[編集]	登録されている位置情報管理設定情報を編集することができます。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

2.4.2 位置情報管理の設定セット入力値

位置情報管理では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	設定セットの名称を指定します。
【エージェントによる測位】	位置情報の測位タイミングを指定します。本機能で測位タイミングを指定しても、端末の位置情報の無線ネットワークと GPS が無効の場合は測位を行いません。また、エージェントの位置情報取得が「許可しない」の場合、位置情報を取得しません。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 測位しない：測位を行いません。 ・ エージェント起動時のみ測位する：エージェントの起動時のみ測位を行います。 ・ 定期的に測位する：指定した間隔で定期的に測位を行います。分数／時間／日数を合わせて指定します。 「分数指定」を選択時、分数を 10 以上、59 以下の範囲で入力してください。 「時間指定」を選択時、時間を 1 以上、23 以下の範囲で入力してください。 「日数指定」を選択時、日数を 1 以上、365 以下の範囲で入力してください。

2.5 App Manager

App Manager とは、MDM 関連アプリのインストールおよびアップデートをセキュアに実現するための導入支援機能です。App Manager を使用したインストールおよびアップデートは、アプリケーション禁止(19 ページ)や Web フィルタリング(「管理サイト ユーザーマニュアル 各種設定」の「ブラウザーWeb フィルタリング」)など、本製品で提供しているセキュリティ機能に制限されません。このため、これらのセキュリティ機能を維持したまま MDM 関連アプリの導入を行うことができます。App Manager 自体は Android エージェントの機能です。本設定では Android エージェント側で、App Manager を有効にするかどうかを設定します。設定を保存した時点で、すべての Android 機器に対して適用されます。

※アプリケーション禁止(19 ページ)の「アプリケーションインストール制限」で"禁止"に設定している場合は、App Manager を使用したインストールおよびアップデートも禁止の対象となります。

App Manager からインストールおよびアップデートを行う場合は、一時的に「アプリケーションインストール制限」を"許可"に設定していただく必要がございます。

※設定が機器に反映されるまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存します。

※App Manager 自体の詳細については、別紙「Android ユーザーマニュアル」を参照してください。

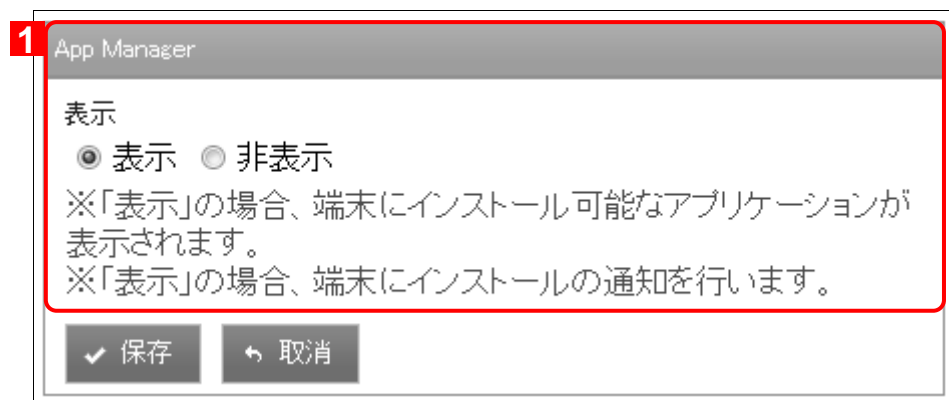
※MDM 関連アプリとは以下を指します。

デバイスマネジメント エージェント、DM Browser、モバイルウイルス対策

2.5.1 App Manager 表示設定画面を表示する

App Manager 表示設定画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [App Manager]をクリックします。



項番	対象	説明
1	App Manager 表示	<p>表示：エージェントのメニューに App Manager を表示します。</p> <p>非表示：エージェントのメニューに App Manager を表示しません。</p> <p>※「表示」の場合、端末にインストール可能なアプリケーションが表示されます。</p> <p>※「表示」の場合、端末にインストールの通知を行います。</p>

2.5.2 App Manager 表示設定を編集する

App Manager 表示設定を編集します。入力項目に関しては、「App Manager 表示設定の入力値」17 ページを参照してください。

1. App Manager 表示設定画面を表示します。
2. [編集]をクリックします。
3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

2.5.3 App Manager 表示設定の入力値

App Manager 表示設定では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【表示】	App Manager の表示/非表示を指定します。 ・表示：エージェントのメニューに App Manager を表示します。 ・非表示：エージェントのメニューに App Manager を表示しません。

3 Android- 使用制限

Android 機器に対する設定セットを作成します。機器に制限を設けることを目的とした設定セットを作成いただけます。作成した設定セットは一括機器設定および、機器ごとの設定にて適用してください。

作成可能な設定セットは以下のとおりです。

設定項目名	ページ
アプリケーション禁止	19
SD カード	25
カメラ	27
Bluetooth	29
スクリーンロック	31
リモートロック	36
リモートワイプ	38
Wi-Fi フィルタリング	40
発信先制限	42
アプリケーション検知	44

3.1 アプリケーション禁止

Android エージェントに対するアプリケーション禁止ルールに関する設定セットを作成します。当設定セットを用いることで、指定したアプリケーションの起動を禁止する／全アプリケーションのインストールを禁止する／ユーザーによる機器の設定変更を禁止する／指定した画面の表示を禁止することが可能です。作成した設定セットは一括機器設定および、機器ごとの設定にて適用してください。なお、禁止されているアプリケーションを起動しようとした場合、禁止対象である旨のメッセージが表示され、アプリケーションの起動が行えません。

※SD カード、カメラ、Bluetooth 機能を含むアプリケーションの場合

アプリケーション禁止機能のほかに、25 ページ「SD カード」、27 ページ「カメラ」、29 ページ「Bluetooth」機能を併用している場合、SD カード、カメラ、Bluetooth を使用するアプリケーションを使用するには以下の 2 つの設定を行う必要があります。

- ・ SD カード、カメラ(*1)、Bluetooth 機能の該当機能の画面で「許可」を選択
- ・ アプリケーション禁止機能で該当アプリケーションを「許可」に設定
(「許可するアプリケーションを指定する」で許可アプリケーションとして登録、もしくは、「禁止するアプリケーションを指定する」で禁止アプリケーションとして該当アプリケーションを指定しない。)
いずれかが「禁止」と設定されている場合は、使用できません。

(*1)カメラ機能を含むアプリケーションで端末の OS が Android4.0 以降の場合は、カメラ機能の画面で「許可」を選択していても、アプリケーションの起動は可能です。詳細は、以下を参照してください。

⇒カメラ 27 ページ

※一括機器設定に関しては以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 機器」の「機器―一括機器設定―一括して複数の機器に設定セットを適用する」

※機器ごとの設定に関しては以下を参照してください。


⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作―機器―設定―単一の機器に設定テンプレートを適用する」

3.1.1 アプリケーション禁止画面を表示する

アプリケーション禁止画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [アプリケーション禁止]をクリックします。

【設定】タブ


アプリケーション禁止

設定
高度な設定
操作

設定

1 設定名

アプリケーション禁止

2 アプリケーション禁止

許可するアプリケーションを指定する(指定されていないアプリケーションは禁止)

編集

3 インポート・エクスポート

対象アプリケーション一覧をCSVファイルからインポート

対象アプリケーション一覧をCSVファイルでエクスポート

4 対象アプリケーション

アプリケーション名



パッケージ名

(+ボタンで追加: 1000件まで)

+

5

✓ メモから追加

項番	対象	説明
1	設定名	好きな名前を入力します。
2	アプリケーション禁止	禁止方式を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 許可するアプリケーションを指定する(指定されていないアプリケーションは禁止): 指定されたアプリケーションのみ使用できます。 禁止するアプリケーションを指定する(指定されていないアプリケーションは許可): 指定されたアプリケーションのみ使用できません。
3	インポート・エクスポート	対象のアプリケーションを CSV ファイルからインポート・エクスポートします。 <ul style="list-style-type: none"> 対象アプリケーション一覧を CSV ファイルからインポート 対象アプリケーション一覧を CSV ファイルでエクスポート
4	対象アプリケーション	対象のアプリケーションをアプリケーション名とパッケージ名で指定します。 <ul style="list-style-type: none"> アプリケーション名: アプリケーション名を入力します。 機器が登録されている場合、入力された文字に対して機器に登録されている全てのアプリケーションの中から関連するアプリケーションが表示されます。 パッケージ名: アプリケーションのパッケージ名を入力します。(パッケージ名は機器のアプリケーション詳細情報画面で確認してください。詳細情報画面の表示方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作—機器—アプリ—アプリケーションの詳細を確認する(Android 機器)」を参照してください。) ※アプリケーションを 31 個以上登録した場合、ご使用の端末によってはアプリケーション禁止まで時間がかかる場合がございます。 ※[追加]  をクリックすると、入力欄が追加されます。 ※[削除]  をクリックすると、入力欄が削除されます。
5	[メモから追加]	機器画面の[アプリ]タブのメモ欄をクリックしたアプリケーション名とそのパッケージ名が「アプリケーション一覧」に表示されます。 ※機器画面[アプリ]タブの詳細は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作—機器—アプリ—アプリケーションの詳細を確認する(Android 機器)」を参照してください。

【高度な設定】タブ

アプリケーション禁止

設定

高度な設定

操作

高度な設定 - 編集

1

アプリケーションインストール制限

☒ アプリケーションのインストールを許可
☐ アプリケーションのインストールを禁止

※すべてのアプリケーションのアップデートも不可能になります。
※Android 2.xの場合、設定画面の「開発」も開けなくなります。
※Android 3.x以降の場合、設定画面も開けなくなります。

2

設定画面の禁止 ※Android 2.3のみ対応

☐ Wi-Fi設定
☐ VPN設定
☐ APN設定
☐ デバイス管理者機能
☐ 開発
☐ アプリケーション管理

3

画面の禁止(カスタム)一覧

画面名	パッケージ名	アクティビティ	モデル
(+ボタンで追加: 300件まで)			

※本機能は上級者向けの機能となっております。十分機能を理解したうえでご利用ください。

✓ 保存

↶ 取消

項番	対象	説明
1	アプリケーションインストール制限	アプリケーションのインストールを許可：アプリケーションのインストールを許可します。 アプリケーションのインストールを禁止：アプリケーションのインストールを禁止します。 ※機器の USB デバッグを OFF にした状態でご利用ください。
2	設定画面の禁止	選択した設定画面の表示を禁止します。(Android 2.3 のみ)
3	画面の禁止(カスタム)一覧	<ul style="list-style-type: none"> 画面名：画面名を入力します。(画面名はお好きなものを入力してください。) パッケージ名：アプリケーションのパッケージ名を入力します。 アクティビティ：禁止する画面のアクティビティ名を入力します。 モデル：禁止対象となる端末を制限したい場合、モデル名を入力します。 ※[追加] をクリックすると、入力欄が追加されます。 ※[削除] をクリックすると、入力欄が削除されます。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

3.1.2 対象アプリケーション一覧をインポートする

対象アプリケーションの指定時、アプリケーションが複数ある場合は、アプリケーション一覧を CSV ファイルでインポートすることができます。

1. アプリケーション禁止の【設定】タブ画面で、「対象アプリケーション一覧を CSV ファイルからインポート」をクリックします。
2. [ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。
3. ダウンロードした CSV ファイルを Excel やメモ帳で開き、アプリケーション情報を入力してください。入力が終了したら保存してファイルを閉じてください。
4. [参照]をクリックして、保存した CSV ファイルを選択してください。
5. [アップロード]をクリックしてください。アップロードが終了したら自動的にインポート確認画面が表示されます。
6. インポート内容に誤りがある場合は、備考欄にエラー内容が表示されます。CSV ファイルを修正し、再度アップロードしてください。
7. [インポート実行]をクリックします。インポート内容に誤りがある場合は[インポート実行]は表示されません。

3.1.3 対象アプリケーション一覧をエクスポートする

登録した対象アプリケーション一覧を CSV ファイルでエクスポートすることができます。

1. アプリケーション禁止の【設定】タブ画面で、「CSV ファイルでエクスポート」をクリックします。

3.1.4 アプリケーション禁止の設定セット入力値

アプリケーション禁止では以下の入力ルールで設定を行います。

タブ名	項目名	ルール
【設定】	【設定名】	設定セットの名称を指定します。1文字～30文字で入力してください。
	【アプリケーション禁止】	<p>アプリケーションの起動禁止設定を行います。リスト形式およびリストに含めるアプリケーションを指定します。</p> <p>※Activity（アプリケーションの画面）を持たないアプリを禁止することはできません。</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームボタン長押しで起動するアプリ履歴 ・ウィジェットなどホームアプリ上で動作するアプリ <p>リスト形式を以下より選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・許可するアプリケーションを指定する（指定されていないアプリケーションは禁止）：ホワイトリスト形式です。指定されていないアプリケーションは起動禁止となります。 ・禁止するアプリケーションを指定する（指定されていないアプリケーションは許可）：ブラックリスト形式です。指定されたアプリケーションは起動禁止となります。ただし、バックグラウンドで動作するアプリケーションは禁止できません。
	アプリケーション名	<p>アプリケーション名を入力します。アプリケーション名は端末のアプリケーション情報から確認することが可能です。</p> <p>60文字以内で入力してください。制御文字は入力できません。</p>
	パッケージ名	<p>パッケージ名を入力します。パッケージ名は端末のアプリケーション情報から確認することが可能です。</p> <p>255文字以内で入力してください。半角英数字、「.」、「_」、「\$」のみで入力してください。</p>
	メモから追加	機器のアプリケーション情報から取得したメモ情報を添付します。
	+ボタン	設定するアプリケーションタグを追加します。1,000件まで登録することが可能です。
【高度な設定】	【アプリケーションインストール制限】	<p>アプリケーションのインストールおよびアップデートに対する許可／禁止を指定します。</p> <p>※ブラウザー(Android,PC 含む)から Google Play の Web サイト経由でのアプリケーションのインストールを禁止することはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーションのインストールを許可：すべてのアプリケーションのインストールおよびアップデートを許可します。 ・アプリケーションのインストールを禁止：すべてのアプリケーションのインストールおよびアップデートを禁止します。ただし、許可するアプリケーションとして Google Play が指定されている場合は、禁止できません。
	【設定画面の禁止】	<p>特定の設定画面の使用を禁止します。本機能は Android 2.3 のみ対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi 設定：チェックを入れることで Wi-Fi 設定画面の表示を禁止します。 ・VPN 設定：チェックを入れることで VPN 設定画面の表示を禁止します。 ・APN 設定：チェックを入れることで APN 設定画面の表示を禁止します。 ・デバイス管理者機能：チェックを入れることでデバイス管理者機能設定画面の表示を禁止します。 ・開発：チェックを入れることで開発画面の表示を禁止します。 ・アプリケーション管理：チェックを入れることでアプリケーション管理画面の表示を禁止します。
	【画面の禁止(カスタム)一覧】	画面のアクティビティを設定し、個別の画面表記設定を行います。
	画面名	<p>画面の画面名を入力します。</p> <p>60文字以内で入力してください。制御文字は入力できません。</p>
	パッケージ名	<p>パッケージ名を入力します。</p> <p>255文字以内で入力してください。</p> <p>半角英数字、「.」、「_」、「\$」のみで入力してください。</p>

タブ名	項目名	ルール	
		アクティビティ	画面のアクティビティを設定します。 255 文字以内で入力してください。 半角英数字、「.」、「_」、「\$」のみで入力してください。
		モデル	端末のモデル名を設定します。(「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－機器－機器」を参照) 255 文字以内で入力してください。 制御文字は入力できません。 例) ・ SOV32 ・ SHL25
		+ボタン	設定する画面名タグを追加します。複数の画面を設定するときに 利用します。300 件まで追加可能です。

3.2 SD カード

機器のSDカードをアンマウントし、SDカードの利用を禁止する機能です。端末通常利用時/パソコン接続時それぞれで許可/禁止を設定することが可能です。本機能でSDカードの利用を禁止した場合、アプリケーションからSDカードが利用できなくなります。

3.2.1 SD カード画面を表示する

SD カード画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [SD カード]をクリックします。

新規作成

設定

設定 - 編集

1 設定名

2 通常時
☒ 許可 ☐ 禁止

3 Android 4.2以降でSDカードを制限する場合

⚠ Android 4.2以降では、以下の方法でSDカードの利用を制限することが可能です。

Android 4.2の場合:
 SDカード内のデータを初期化します。

Android 4.3/4.4の場合(※エージェントバージョン7.1以降):
 SDカード挿入時にロック画面を表示します。
 ※一部のAndroid 4.3の端末において、SDカードのワイプに対応しております。
 詳細は、「対応端末表」を参照してください。

上記内容をご確認の上、下記「Android4.2以降も制限する」にチェックを入れてください。

☐ Android4.2以降も制限する

4 PC接続時 ※Android 2xのみ対応
☒ 許可 ☐ 禁止

✓ 保存

項番	対象	説明
1	設定名	好きな名前を入力します。
2	通常時	機器をパソコンに接続していない時の SD カードの使用制限を選択することができます。 ・許可：SD カードが使用できます。 ・禁止：SD カードが使用できなくなります。
3	Android4.2 以降で SD カードを制限する場合	SD カードをワイプすることができます。Android 4.2 のみ対応しています。 SD カードに保存されているデータは全て削除されますのでご注意ください。 ・Android 4.2 以降も制限する：SD カードをワイプします。 ※一部の Android 4.3 の端末において、SD カードのワイプに対応しております。 対象の端末は「対応端末表」を参照してください。 Android4.3 以降の端末で本設定を行うと、SD カード挿入が検知されたタイミングで専用のロック画面が表示され、SD カードの利用を規制します。 ※一部の Android 4.3 の端末では専用のロック画面は表示されず、端末の SD カードがワイプされます。 対象の端末は「対応端末表」を参照してください。 ※Android4.1 以前の場合、SD カードへの利用規制は、Android 端末に SD カードが挿入され、マウントされるタイミングで行われます。端末に SD カードが挿入されている（既にマウントされた状態）で Android エージェントのアップデートを行った場合、SD カードは既にマウントされ、検知されているため、規制対象とはなりません。アップデート後に SD カードを再度挿入することで、SD カードをロックすることが可能となります。 ※Android 4.3 以降の端末において、[通常時]の[禁止]にチェックされていることと、[Android 4.2 以降も制限する]にチェックを行うことで専用のロック画面が表示されます。
4	PC 接続時	機器をパソコンに接続している時の SD カードの使用制限を選択することができます。 ・許可：SD カードが使用できます。 ・禁止：SD カードが使用できなくなります。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

3.2.2 SD カードの設定セット入力値

SD カードの設定では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	設定セットの名称を指定します。1 文字～30 文字で入力してください。
【通常時】	端末の通常利用時の SD カード使用設定を行います。 ・許可：チェックを入れることで通常利用時 SD カードを利用許可設定します。 ・禁止：チェックを入れることで通常利用時 SD カードを利用禁止設定します。
【Android 4.2 以降で SD カードを制限する場合】	本設定は【通常時】のオプションとなり、禁止を指定した場合のみ有効となります。 Android 4.2 以降では【通常時】で禁止を指定しても SD カードの利用を禁止することができません。当項目にチェックを入れることで代わりに SD カードをワイプすることが可能です。SD カードに保存されているデータは全て削除されますのでご注意ください。本設定は Android4.2 以降のみ対応しています。 ・Android 4.2 以降も制限する：チェックを入れることで SD カードを初期化します。
【PC 接続時】	端末の PC 接続時の SD カード使用設定を行います。本設定は Android 2.X のみ対応しています。なお、前述の【Android 4.2 以降の場合】は【通常時】のオプションであり、【PC 接続時】の動作については関与しません。 ・許可：チェックを入れることで PC 接続時 SD カードを利用許可設定します。 ・禁止：チェックを入れることで PC 接続時 SD カードを利用禁止設定します。

3.3 カメラ

機器のカメラ起動を禁止する機能です。カメラ起動が禁止された場合には、機器上で禁止された旨のポップアップメッセージを表示します。本機能でカメラの利用を禁止した場合、カメラを利用するアプリケーションは起動できません。ただし、OS が Android4.0 以降の場合はカメラ機能のみを禁止するものとし、アプリケーション自体の起動は可能としています。

※Android4.0 以降ではアプリケーションがカメラの利用を試みたタイミングで禁止メッセージを表示します。その後、アプリケーションが継続して利用できるかどうかは各アプリケーションの仕様に依存します。

3.3.1 カメラ画面を表示する

カメラ画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [カメラ]をクリックします。

項番	対象	説明
1	設定名	好きな名前を入力します。
2	カメラ	<ul style="list-style-type: none"> ・許可：カメラ機能を使用することができます。 ・禁止：カメラ機能を使用することはできません。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

3.3.2 カメラの設定セット入力値

カメラの設定では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	設定セットの名称を指定します。1 文字～30 文字で入力してください。
【カメラ】	端末のカメラ使用設定を行います。 ・許可：チェックを入れることで通常利用時カメラを利用許可設定します。 ・禁止：チェックを入れることで通常利用時カメラを利用禁止設定します。

3.4 Bluetooth

機器の Bluetooth 機能の有効/無効を設定する機能です。本機能で Bluetooth を無効にした場合、アプリケーションから Bluetooth が利用できなくなります。

※機内モード中は、制御は行われません。

3.4.1 Bluetooth 画面を表示する

Bluetooth 画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [Bluetooth]をクリックします。

項番	対象	説明
1	設定名	好きな名前を入力します。
2	Bluetooth 機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 変更しない：各機器によって設定されている設定を変更しません。 ・ 有効にする：Bluetooth を有効にします。 ・ 無効にする：Bluetooth を無効にします。 <p>※Android8 の場合は、Bluetooth を「無効にする」設定セットを端末に割り当てた状態で端末側で Bluetooth を有効にすると、通知領域の簡易設定画面のスイッチが ON(有効)になります。 ただし、通知領域の簡易設定画面上では ON となっても、実際には「無効にする」設定は動作しており、Bluetooth は OFF になっています。</p>

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

3.4.2 Bluetooth の設定セット入力値

Bluetooth の設定では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	設定セットの名称を指定します。1 文字～30 文字で入力してください。
【Bluetooth 機能】	端末の Bluetooth 機能の有効/無効設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 変更しない：チェックを入れることで現在の Bluetooth 設定状態を保持します。 ・ 有効にする：チェックを入れることで通常利用時 Bluetooth を有効設定します。 ・ 無効にする：チェックを入れることで通常利用時 Bluetooth を無効設定します。

3.5 スクリーンロック

Android 標準の画面ロック機能のパスワードポリシーを変更する機能です。


画面内で「※」が付いた機能は OS が Android3.0 以降の場合のみ利用できます。

※スクリーンロックは、Android 標準のロック画面設定を行う機能です。

3.5.1 スクリーンロック画面を表示する

スクリーンロック画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [スクリーンロック]をクリックします。

 新規作成

1 非対応端末について

設定

設定 - 編集集中

2 設定名

3 パスワードポリシー

☒ 端末の設定を変更しない

☐ 制限なし

☐ 以下の制限を設定する

☐ PINまたはパスワード

解除方法: ☐ パスワード

☒ 数字を含むパスワード

文字数: 文字以上

オプション: ☒ 制限を満たしていない場合にパスワードの再設定を強制する

4 パスワードの再利用 ※Android3.x以降対応

☒ 端末の設定を変更しない☐ 制限なし☐ 再利用を禁止 回前のパスワードまで

5 パスワードの有効期限 ※Android3.x以降対応

☒ 端末の設定を変更しない☐ 有効期限なし☐ 日数を指定 日

6 自動ロックまでの時間

☒ 端末の設定を変更しない☐ 30秒 ☐ 1分 ☐ 2分 ☐ 3分 ☐ 5分 ☐ 10分 ☐ 30分☐ 時間を指定 分

7 ロック解除失敗時の設定

☒ 端末の設定を変更しない☐ 回失敗でリモートロック ※エージェントバージョン5.8.1以降とバージョン5.6.1に対応

リモートロックメッセージ

☐ 回失敗でワイプ

⚠ 対象機器のデータを消去します。実行後に取り消すことはできませんので、ご注意ください。

☐ リモートロック／ワイプを行わない

✓ 保存

項番	対象	説明
1	非対応端末について	クリックすると非対応の Android 端末名が表示されます。
2	設定名	お好きな名前を入力します。
3	パスワードポリシー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 端末の設定を変更しない：現在の設定を変更しません。 ・ 制限なし：パスワードの入力を不要に設定します。 ・ 以下の制限を設定する：解除方法、文字数、オプションを選択し、パスワードポリシーを設定します。
4	パスワードの再利用※	<p>パスワードの有効期限が切れた場合、同じパスワードを再度利用できるか設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 端末の設定を変更しない：現在の設定を変更しません。 ・ 制限なし：パスワードの再利用回数を制限しません。 ・ 再利用を禁止○回前のパスワードまで：指定した回数以降新たなパスワードを利用するよう設定します。 <p>※本機能は Android3.x 以降に対応しています</p>
5	パスワードの有効期限※	<p>パスワードの有効期限を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 端末の設定を変更しない：現在の設定を変更しません。 ・ 有効期限なし：有効期限を設定しません。 ・ 日数を指定○日：有効期限日数を設定します。 <p>※本機能は Android3.x 以降に対応しています</p>
6	自動ロックまでの時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 端末の設定を変更しない：現在の設定を変更しません。 ・ 30 秒、1 分、2 分、3 分、5 分、10 分、30 分：ロックされるまでの時間を設定します。 ・ 時間を指定○分：自動ロックまでの時間を設定します。
7	ロック解除失敗時の設定	<p>ロック解除に失敗した場合の動作を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 端末の設定を変更しない：現在の設定を変更しません。 ・ ○回失敗でリモートロック：ロック解除に指定回数失敗した場合、機器がリモートロックされるよう設定します。 ・ ○回失敗でワイプ：ロック解除に指定回数失敗した場合、機器が初期化されるよう設定します。 ・ リモートロック／ワイプを行わない：ロック解除失敗時に何も行いません。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

3.5.2 スクリーンロックの設定セット入力値

スクリーンロックの設定では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	設定セットの名称を指定します。1文字～30文字で入力してください。
【パスワードポリシー】	<p>端末のパスワードポリシーの設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端末の設定を変更しない：チェックを入れることで現在のパスワードポリシー設定状態を保持します。 ・制限なし：チェックを入れることでパスワードポリシーの制限をなしに設定します。 ・以下の制限を設定する：チェックを入れることでパスワードポリシーの制限の設定をします。パスワードの解除方法、ポリシーを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・解除方法：制限を実施する方法を選択します。PIN またはパスワード/パスワード/数字を含むパスワードより選択。 ・文字数：パスワードポリシーを指定文字数以上で設定させるように制限します。選択時は入力必須です。半角数字のみ入力できます。4以上16以下で入力してください。 ・オプション：パスワード設定が、指定された制限を満たしていない場合、再設定を強制させるように設定します。
【パスワードの再利用】	<p>パスワードの再設定時、以前使用したパスワードの使用制限を設定します。本機能はAndroid 3.x以降に対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端末の設定を変更しない：チェックを入れることで現在のパスワードポリシー設定状態を保持します。 ・制限なし：チェックを入れることでパスワードの再利用の制限をなしに設定します。 ・再利用を禁止：チェックを入れることでパスワードの再利用の制限を有効に設定します。指定の回数まで再利用制限をかけることが可能です。半角数字のみ入力できます。1以上10以下で入力してください。「再利用を禁止」を選択時は入力必須です。
【パスワードの有効期限】	<p>利用しているパスワードの有効期限を設定します。本機能はAndroid 3.x以降に対応しています。</p> <p>※パスワードポリシーで、制限を設定し、オプション「制限を満たしていない場合にパスワードの再設定を強制する」のチェックを入れる必要があります。制限を設定しない場合、本機能は動作しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端末の設定を変更しない：チェックを入れることで現在のパスワードポリシー設定状態を保持します。 ・有効期限なし：チェックを入れることでパスワードの有効期限をなしに設定します。 ・日数を指定：チェックを入れることでパスワードの再利用の制限を有効に設定します。指定の回数まで再利用制限をかけることが可能です。半角数字のみ入力できます。1以上365以下で入力してください。「日数を指定」を選択時は入力必須です。
【自動ロックまでの時間】	<p>端末の自動ロックが行われる時間を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端末の設定を変更しない：チェックを入れることで現在のパスワードポリシー設定状態を保持します。 ・30秒 / 1分 / 2分 / 3分 / 5分 / 10分 / 30分：チェックを入れることで指定の時間自動ロックを有効に設定します。 ・時間を指定：チェックを入れることで自動ロックまでの時間を指定時間に設定します。指定の時間に自動ロックをかけることが可能です。半角数字のみ入力できます。1以上30以下で入力してください。「時間を指定」を選択時は入力必須です。

項目名	ルール
【ロック解除失敗時の設定】	<p>端末のスクリーンロック解除失敗時に行われる動作を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 端末の設定を変更しない：チェックを入れることで現在の設定を保持します。 ・ ○回失敗でリモートロック：チェックを入れることでスクリーンロック解除に指定回数失敗したら自動的にリモートロックするように設定します。失敗回数を合わせて指定します。半角数字のみ入力できます。2 以上 50 以下で入力してください。また、ロックメッセージを任意で入力します。200 文字以内で入力してください。制御文字の入力はできません。※空白類(タブ、改行等)は入力できます。 ・ ○回失敗でワイプ：チェックを入れることでスクリーンロック解除に指定回数失敗したら自動的にワイプするように設定します。失敗回数を合わせて指定します。半角数字のみ入力できます。2 以上 50 以下で入力してください。 ・ リモートロック／ワイプを行わない：チェックを入れることでスクリーンロック解除に失敗しても現在状態を保持します。 <p>※「○回失敗でリモートロック」「○回失敗でワイプ」は適用対象機器を十分にご確認の上、ご利用ください。</p> <p>※「○回失敗でリモートロック」は、機器にインストールされているエージェントが対応バージョンの場合のみ利用可能です。エージェントが未対応の場合は、「端末の設定を変更しない」と同様の動作となります。</p> <p>※「○回失敗でワイプ」は、端末により SD カードのデータはワイプされない場合がございます。</p>

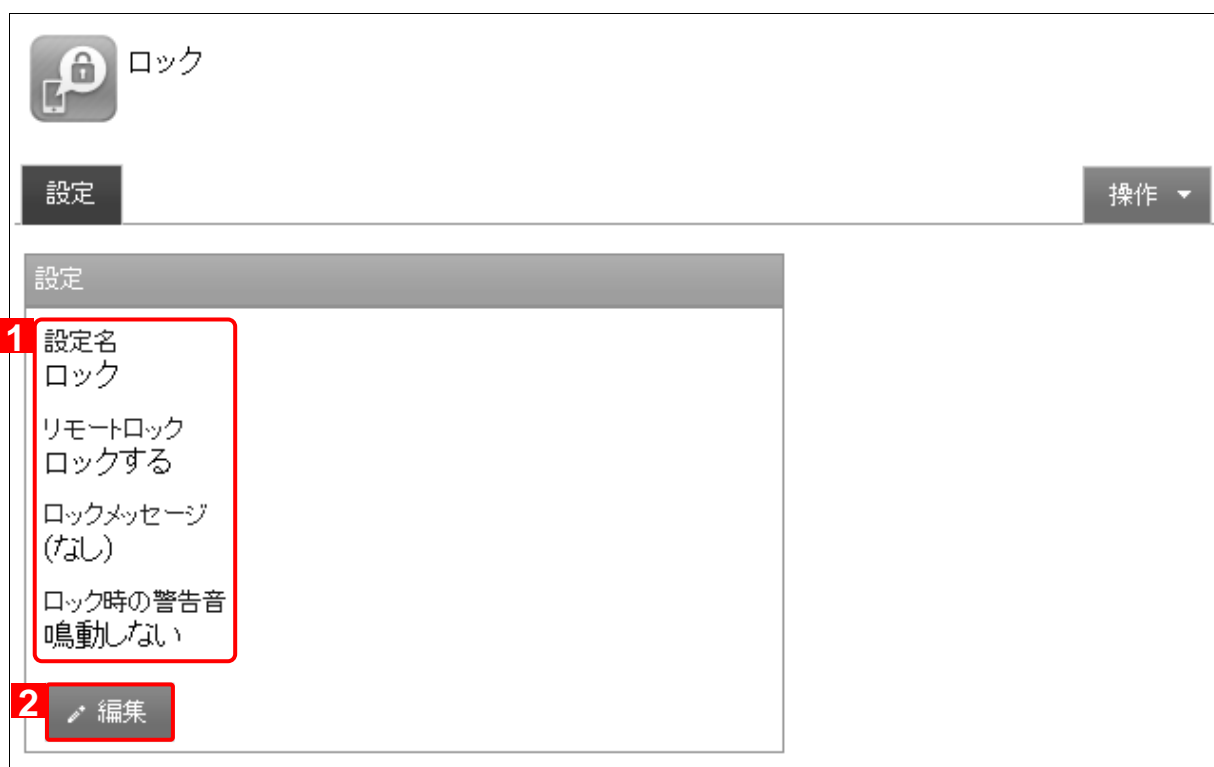
3.6 リモートロック

管理サイト上から、管理している機器をロックすることができます。機器ごとに1台ずつ行うこともできますし、分類ごとに行うこともできます。リモートロックをかけると、本製品独自のロック画面を機器に表示し、第三者による機器の利用を防ぐことができます。

3.6.1 リモートロック画面を表示する

リモートロック画面を表示します。入力項目に関しては、「リモートロックの設定セット入力値」37 ページを参照してください。

1. メニュータブをクリックします。
2. [リモートロック]をクリックします。



項番	対象	説明
1	設定	現在の設定が表示されます。
2	[編集]	登録されている設定セットを編集することができます。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

3.6.2 リモートロックの設定セット入力値

リモートロックの設定では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	設定セットの名称を指定します。1文字～30文字で入力してください。
【リモートロック】	<p>端末のリモートロック設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロックする：チェックを入れることで端末のリモートロック設定を有効設定します。 ・ロックしない：チェックを入れることで端末のリモートロック設定を無効/解除設定します。 <p>※Android5.x、6.0 においては、リモートロックを行っても、リモートロック中にマルチユーザー切り替えができてしまうため、別アカウントとして操作が可能です。</p>
【ロックメッセージ】	<p>端末のリモートロック設定時に端末に表示させるメッセージを設定します。</p> <p>200文字以内で入力してください。</p> <p>制御文字の入力はできません。</p> <p>※空白類(タブ、改行等)は入力できます。</p>
【ロック時の警告音】	<p>リモートロックした端末から警告音を鳴らすことが可能です。なお、警告音には端末で設定されている通知音を利用しており、鳴動時は最大音量となります。本機能は Android4.0 以降に対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳴動する：リモートロックした端末を鳴動させます。リモートロック画面が表示されている間は鳴動が続きます。なお、イヤホン利用時の動作は機種によって異なります。また、ハードウェアスイッチによりサイレントモードになっている端末は鳴動しませんのでご注意ください。 ・鳴動しない：リモートロックした端末を鳴動させません。

3.7 リモートワイプ

管理サイト上から、管理している機器をワイプすることができます。機器ごとに1台ずつ行うこともできますし、分類ごとに行うこともできます。リモートワイプを行った場合、端末を初期化(工場出荷時の状態に戻す)します。

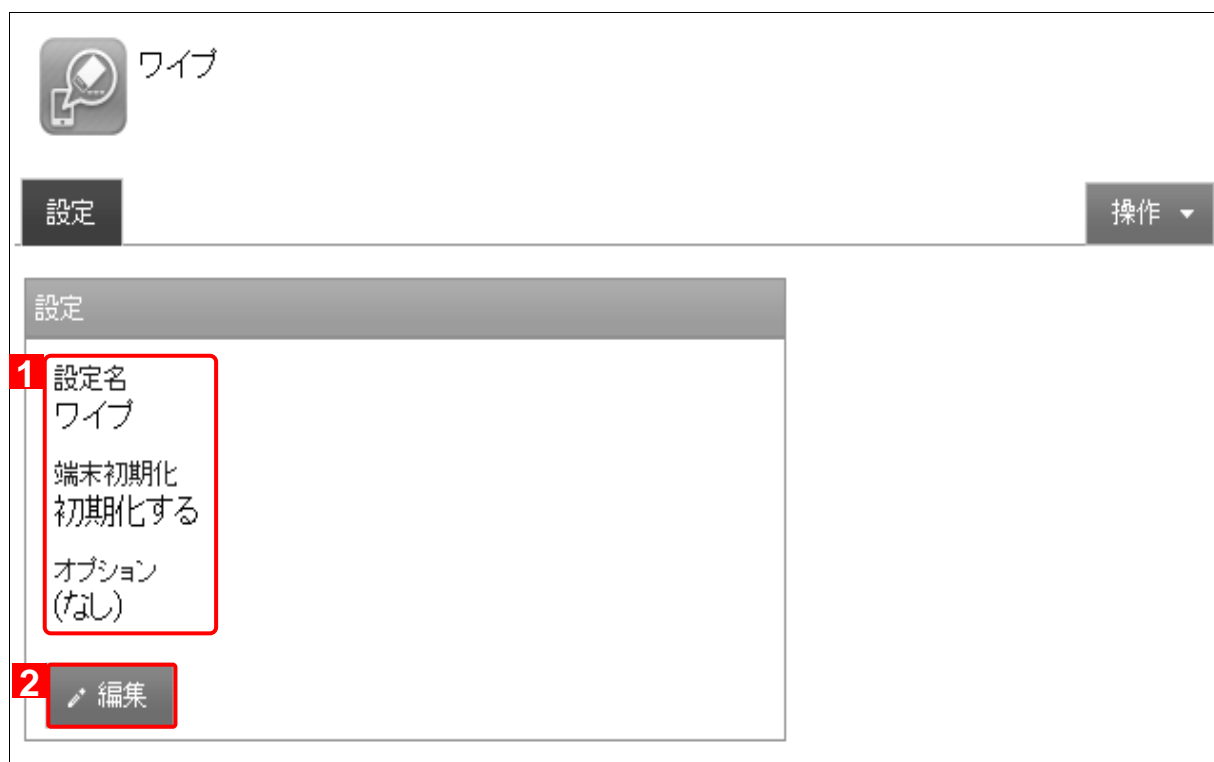
※「リモートロック」設定と「SD カード」設定を同時に設定した場合、直後の同期でいずれかの設定が端末に反映されない場合があります。同期を再び実行し、両方の設定が反映されていることを確認してください。

※同期タイミングの度にリモートワイプ指示を行います。本件を停止するには、設定セットからリモートワイプ設定を外してください。

3.7.1 リモートワイプ画面を表示する

リモートワイプ画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [リモートワイプ]をクリックします。



項番	対象	説明
1	設定	現在の設定が表示されます。
2	[編集]	登録されている設定セットを編集することができます。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作—設定セット作成方法」を参照してください。

3.7.2 リモートワイプの設定セット入力値

リモートワイプの設定では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	設定セットの名称を指定します。1 文字～30 文字で入力してください。
【端末初期化】	端末のリモートワイプ設定を行います。 ・ 初期化する：チェックを入れることで端末を初期化する設定とします。 ・ 初期化しない：チェックを入れることで端末を初期化しない設定とします。
【オプション】	チェックを入れることで端末の初期化時に SD カードも初期化を行います。

3.8 Wi-Fi フィルタリング

特定の無線 LAN アクセスポイントのみ接続を許可する機能です。指定された SSID 以外への Wi-Fi 接続は禁止されます。

※誤った設定を行うと Wi-Fi モデルでは一切ネットワークに接続できなくなりますので、ご注意ください。

※本製品のご利用を解約いただいても、機器に対して行った設定はそのまま保持されるのでご注意ください。解約の際は事前に各種設定セットに「設定なし」を適用してください。

※Android8 の場合は、Device Owner Mode でご利用いただかないと、本機能は動作しません。Device Owner Mode キットインストール手順については、「Device Owner Mode 導入マニュアル」を参照してください。

3.8.1 Wi-Fi フィルタリング画面を表示する

Wi-Fi フィルタリング画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [Wi-Fi フィルタリング]をクリックします。

項番	対象	説明
1	設定名	好きな名前を入力します。
2	以下の SSID のみ許可する	<p>登録した SSID のみ使用することができます。</p> <p>※[追加] をクリックすると、入力欄が追加されます。</p> <p>※[削除] をクリックすると、入力欄が削除されます。</p> <p>※SSID を 31 個以上登録した場合、ご使用の端末によっては Wi-Fi フィルタリングに時間がかかる場合がございます</p>

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作 - 設定セット作成方法」を参照してください。

3.8.2 Wi-Fi フィルタリングの設定セット入力値

Wi-Fi フィルタリングの設定では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール	
【設定名】	設定セットの名称を指定します。1 文字～30 文字で入力してください。	
【以下の SSID のみ許可する】	SSID	<p>端末で接続可能な Wi-Fi の SSID を設定します。(ホワイトリスト形式) 入力必須です。</p> <p>32 文字以内で入力してください。</p> <p>半角英数字、「-」、「_」、「@」のみで入力してください。</p> <p>※+ボタン：設定するアプリケーションタグを追加します。1,000 件まで登録することが可能です。</p>

3.9 発信先制限

機器からの電話発信を制限する機能です。許可する発信先の指定、もしくは、禁止する発信先の指定のいずれかを行うことができます。発信先制限設定セット登録後、発信先リストのインポートやエクスポートも可能です。

3.9.1 発信先制限画面を表示する

発信先制限画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [発信先制限]をクリックします。

新規作成

設定

設定 - 編集

1 設定名

2 発信先制限

☒ 許可する発信先を指定する(下記で指定されていない発信先は禁止)
☐ 禁止する発信先を指定する(下記で指定されていない発信先は許可)
 ※緊急通報用電話番号への発信は基本的に端末の仕様により制限することはできません。

3 発信先

電話番号	
	✕

(+ ボタンで追加: 300件まで) +

※電話番号をCSVファイルからインポートする場合は、一度保存してください。

✓ 保存

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	発信先制限	<ul style="list-style-type: none"> ・許可する発信先を指定する(下記で指定されていない発信先は禁止)：許可する発信先の指定を行います。 ・禁止する発信先を指定する(下記で指定されていない発信先は許可)：禁止する発信先の指定を行います。 ※緊急通報用電話番号への発信は基本的に端末の仕様により制限することはできません
3	発信先	<ul style="list-style-type: none"> ・電話番号：許可または禁止する電話番号を入力します。 ※[追加] ✕ をクリックすると、入力欄が追加されます。 ※[削除] ✕ をクリックすると、入力欄が削除されます。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

3.9.2 発信先をインポートする

CSV ファイルから許可、または禁止する発信先の登録をまとめて行います。

1. 設定セッの一覧より対象とする設定セットをクリックします。
2. [発信先一覧を CSV ファイルからインポート]をクリックします。
3. [ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。
4. ダウンロードした CSV ファイルを Excel やメモ帳で開き、発信先情報を入力してください。入力が終了したら保存してファイルを閉じてください。
5. [参照]をクリックして、保存した CSV ファイルを選択してください。
6. [アップロード]をクリックしてください。アップロードが終了したら自動的にインポート確認画面が表示されます。
7. インポート内容に誤りがある場合は、備考欄にエラー内容が表示されます。CSV ファイルを修正し、再度アップロードしてください。
8. [インポート実行]をクリックします。インポート内容に誤りがある場合は[インポート実行]は表示されません。

※インポート対象とする設定セットを事前に作成しておく必要があります。

※CSV ファイルの 1 行目には項目名が表示されています。発信先の入力は 2 行目から行ってください。

3.9.3 発信先をエクスポートする

許可、または禁止として登録されている発信先を CSV ファイルとしてダウンロードします。エクスポート時の文字コードは日本語環境では SHIFT-JIS(cp932)、その他の環境では UTF-8 となります。

1. 設定セッの一覧より対象とする設定セットをクリックします。
2. [発信先一覧を CSV ファイルでエクスポート]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。

※エクスポート対象とする設定セットを事前に作成しておく必要があります。

3.9.4 発信先制限の設定セット入力値

発信先制限の設定では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	設定セットの名称を指定します。1 文字～30 文字で入力してください。
【発信先制限】	発信先制限の条件を以下より選択します。 緊急通報用電話番号への発信は基本的に端末の仕様により制限することはできません。 ・許可する発信先を指定する(下記で指定されていない発信先は禁止)：ホワイトリスト形式 ・禁止する発信先を指定する(下記で指定されていない発信先は許可)：ブラックリスト方式
【発信先】	指定する発信先の電話番号情報を入力します。設定内で重複はできません。 半角数字、「-」、「+」、「*」、「#」、「,」のみ入力できます。 20 文字以内で入力してください。 +ボタン：設定する電話番号情報を追加します。300 件まで登録することが可能です。

3.10 アプリケーション検知

機器のアプリケーション一覧を取得し、指定した条件と一致するアプリケーションを検知し、ログ表示する機能です。機器に指定するアプリケーションがインストールされていないことを確認する(インストール推奨アプリケーション)、もしくは、指定するアプリケーションがインストールされていることを確認する(インストール非推奨アプリケーション)ことができます。アプリケーションの検知は、機器ごとに1日1回ランダムなタイミングで実行します。

※本機能は、設定セット適用前にインストールしたアプリケーションにも有効です。

3.10.1 アプリケーション検知画面を表示する

アプリケーション検知画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [アプリケーション検知]をクリックします。

項番	対象	説明
1	設定名	好きな名前を入力します。
2	インストール推奨アプリケーション	インストール推奨アプリケーション一覧が表示されます。 ※[追加] をクリックすると、入力欄が追加されます。 ※[削除] をクリックすると、入力欄が削除されます。
3	インストール非推奨アプリケーション	インストール非推奨アプリケーション一覧が表示されます。 ※[追加] をクリックすると、入力欄が追加されます。 ※[削除] をクリックすると、入力欄が削除されます。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

3.10.2 アプリケーション検知の設定セット入力値

アプリケーション検知の設定では以下の入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール
【設定名】		設定セットの名称を指定します。1文字～30文字で入力してください。
【インストール推奨アプリケーション】		端末へインストールを推奨するアプリケーション情報を設定します。 +ボタン：設定する推奨アプリケーション情報を追加します。50件まで登録することが可能です。
	アプリケーション名	アプリケーション名を入力します。アプリケーション名は端末のアプリケーション情報から確認することが可能です。 入力必須です。60文字以内で入力してください。 制御文字は入力できません。
	パッケージ名	パッケージ名を入力します。パッケージ名は端末のアプリケーション情報から確認することが可能です。 入力必須です。255文字以内で入力してください。 半角英数字、「.」、「_」、「\$」のみ入力できます。
	バージョン条件	指定するバージョン条件、バージョン情報を設定します。 入力必須です。 半角数字、「.」、「-」のみ入力できます。 0以上 2147483647 以下で入力してください。
【インストール非推奨アプリケーション】		端末へインストールを推奨しないアプリケーション情報を設定します。 +ボタン：設定する推奨アプリケーション情報を追加します。50件まで登録することが可能です。
	アプリケーション名	アプリケーション名を入力します。アプリケーション名は端末のアプリケーション情報から確認することが可能です。 入力必須です。 60文字以内で入力してください。 制御文字は入力できません。
	パッケージ名	パッケージ名を入力します。パッケージ名は端末のアプリケーション情報から確認することが可能です。 入力必須です。 255文字以内で入力してください。 半角英数字、「.」、「_」、「\$」のみ入力できます。
	バージョン条件	指定するバージョン条件、バージョン情報を設定します。 以下より選択 すべて、 \geq 、 $>$ 、 \leq 、 $<$ 、 $=$ 入力必須です。半角数字、「.」、「-」のみ入力できます。 0以上 2147483647 以下で入力してください。

4 Android- ウィルス対策ソフト

Android 機器に対する設定セットを作成します。本製品で提供しているオプションパッケージ「モバイルウイルス対策」の動作設定を目的とした設定セットを作成いただけます。作成した設定セットは一括機器設定および、機器ごとの設定にて適用してください。

作成可能な設定セットは以下のとおりです。

設定項目名	ページ
ウイルス対策機能	47

4.1 ウイルス対策機能

「モバイルウイルス対策」の有効／無効設定、スキャン対象およびスキャンスケジュールの指定、パターンファイルアップデートスケジュールに関する指定、アンインストールに関する設定が行えます。

※機器にトレンドマイクロ社のセキュリティソフトがインストールされている場合は、事前にアンインストールが必要です。

※上記以外のセキュリティソフトがインストールされている場合でも、事前にアンインストールいただくことを推奨しております。

※設定内容によっては保護状態の表示が管理サイトと端末で異なる場合があります。

⇒「FAQ マニュアル」の「よくある質問と回答－管理サイト FAQ－Q16 ウイルス対策ソフトの保護状態が、管理サイトと端末で異なっています」を参照してください。

4.1.1 ウイルス対策機能画面を表示する

ウイルス対策機能画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
 2. [ウイルス対策機能]をクリックします。

 新規作成

 設定

設定 - 編集

1 設定名

2 ウイルス対策機能

☒ 有効
☐ 無効

スキャン対象
☒ 全てのファイル
☐ apkファイルのみ

リアルタイムスキャン
☐ 有効
☒ 無効

スケジュールスキャン
☒ 毎週 ☐ 日 ☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☒ 金 ☐ 土
☐ 毎日

☒ 保存

項番	対象	説明
1	設定名	好きな名前を入力します。
2	設定値	ウイルス対策機能に対する各種設定を行います。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

4.1.2 ウイルス対策機能の設定セット入力値

ウイルス対策機能の設定では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	設定セットの名称を指定します。1文字～30文字で入力してください。
【ウイルス対策機能】	ウイルス対策機能の有効/無効設定を行います。 ・有効：ウイルス対策機能を有効に設定します。 ・無効：ウイルス対策機能を無効に設定します。
【スキャン対象】	端末のスキャン設定対象を設定します。 ・全てのファイル：端末内部のすべてのファイルをスキャン対象に設定します。 ・apk ファイルのみ：端末内部の apk ファイルのみスキャン対象に設定します。
【リアルタイムスキャン】	端末のリアルタイムスキャン設定を有効/無効設定を行います。 ・有効：端末のリアルタイムスキャンを有効に設定します。 ・無効：端末のリアルタイムスキャンを無効に設定します。
【スケジュールスキャン】	端末のスキャン設定のスケジュールを設定します。 ・毎週：毎週の指定曜日にスキャンを設定します。 ・毎日：毎日スキャンを行うことを設定します。 「毎週」を選択時、以下より選択 日、月、火、水、木、金、土
【スケジュールスキャン実行時刻】	スケジュールスキャンの実行時刻を設定します。指定の時間を設定します。 選択時入力必須です。 半角数字のみ入力できます。 0 以上 23 以下で入力してください。
【パターンファイルアップデート】	ウイルス対策ソフトのパターンファイルアップデート日時を設定します。 ・なし：パターンファイルアップデートスケジュールをなしに設定します。 ・毎月：パターンファイルアップデートスケジュールを毎月設定します。 ・毎週：パターンファイルアップデートスケジュールを毎週に設定します。 ・毎日：パターンファイルアップデートスケジュールを毎日設定します。
【アップデートオプション】	チェックを入れることでパターンファイルアップデート後に自動的にスキャンを行う設定を行います。
【アンインストール保護】	ウイルス対策ソフトのアンインストール保護を有効/無効設定を行います。 ・パスワードの入力：指定パスワードを指定することで指定パスワードでのみアンインストールを有効に設定します。選択時入力必須です。半角数字のみ入力できます。パスワードは 4 文字以上、20 文字以内で入力してください。 ・保護しない：アンインストール可能な状態に設定します。

5 Android - セットアップ

Android 機器に対する設定セットを作成します。機器の利便性を向上させることを目的とした設定セットを作成いただけます。

作成した設定セットは一括機器設定および、機器ごとの設定にて適用してください。

作成可能な設定セットは以下のとおりです。

設定項目名	ページ
アプリケーション配信	51
Wi-Fi	54
連絡先	57
暗号化	61
コンテンツ配信	63
コンテンツ配信ポリシー	68

5.1 アプリケーション配信

アプリケーション配信では、Androidのアプリケーションである apk ファイルの配信に必要な設定を行うことができます。作成した設定を端末に割り当てることで、以下の方法で端末にアプリケーションを配信することができます。

- ・指定したアプリケーション(apk ファイル)のダウンロード案内を端末に通知する方法。

通知の方法は、通知領域に表示する方法と、画面にポップアップ表示させる方法の 2 つがあります。

配信するためのアプリケーション(apk ファイル)は、apk ファイルが配置されている URL を指定する方法と、管理サイト上に apk ファイルをアップロードする方法の 2 つから選択できます。

本サービスオプションのアプリケーション(DM Browser、モバイルウイルス対策を配信する場合は App Manager の機能を利用してください。

Web フィルタリング機能を設定している場合は、アプリケーション配信用の URL を「Web フィルタリング」で許可する URL に登録する必要があります。アプリケーション禁止機能を設定している場合は、OS 標準のブラウザを「アプリケーション禁止」で許可するアプリケーションに登録する必要があります。

※アプリケーション配信をご利用いただく場合は、「アプリケーション配信の設定セット入力値(53 ページ)」に記載のルールに従って、対象のアプリケーションの情報を入力してください。

入力した情報に不備がある状態で配信設定を端末に適用すると、実際の配信対象となるアプリケーションが持つ情報と不整合が発生します。その影響で、同期を行う度にアプリケーション配信を繰り返す事象が発生し、ご利用中の通信手段が通信キャリア回線の場合、データ通信量の急激な増加に繋がる恐れがあります。

※アプリケーション配信で通知したアプリケーションが機器にインストールされていない場合は、同期の都度、通知が行われます。

このため、アプリケーション配信の指定が間違っている場合(実在しない URL を指定した場合など)は通知され続けることになります。通知を取り消したい場合は、アプリケーション配信設定を削除してください。

※アプリケーション削除機能はありません。

※Google Play からのアプリケーションをインストールするためには Google アカウントの登録が必要です。

※Android 7 以降の端末で、お客様が用意したサーバーから https を使ったアプリケーション配信を行う場合は、その用意したサーバーの SSL 証明書の CA 証明書が Android 端末に標準で入っている必要があります。

※Web フィルタリングに関しては以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 各種設定」の「ブラウザーWeb フィルタリング」

※アプリケーション禁止に関しては以下を参照してください。

⇒アプリケーション禁止 19 ページ



※App Manager に関しては以下を参照してください。

⇒App Manager 16 ページ

5.1.1 アプリケーション配信画面を表示する

アプリケーション配信画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [アプリケーション配信]をクリックします。

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	アプリケーション一覧	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーション名：配信するアプリケーション名を入力します。(入力したアプリケーション名は機器にダウンロード案内を通知する際に表示されます。アプリケーション名はお好きなものを入力してください。) ・パッケージ名：配信するアプリケーションのパッケージ名を入力します。 ・バージョン番号：配信するアプリケーションのバージョンを入力します。 ・URL：アプリケーションをダウンロードする URL を入力します。 ・ポップアップ：アプリケーション配信の際にポップアップを表示します。 <p>※[追加]  をクリックすると、入力欄が追加されます。</p> <p>※[削除]  をクリックすると、入力欄が削除されます。</p>

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

5.1.2 アプリケーション配信の設定セット入力値

アプリケーション配信の設定では以下の入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール
【設定名】		設定セットの名称を指定します。1文字～30文字で入力してください。
【アプリケーション一覧】		端末へ配信するアプリケーション情報を設定します。 +ボタン: 設定するアプリケーション情報を追加します。300件まで登録することが可能です。 ※Google Playで公開されているアプリケーションのURLを確認する場合は、ブラウザーからアクセスしてください。Google Playからアクセスした場合はURLが表示されません。
	アプリケーション名	アプリケーション名を入力します。アプリケーション名は端末のアプリケーション情報から確認することが可能です。 入力必須です。60文字以内で入力してください。 制御文字は入力できません。
	パッケージ名	パッケージ名を入力します。 パッケージ名はアプリケーションの開発元に確認してください。 入力必須です。設定内で重複はできません。 255文字以内で入力してください。 半角英数字、「.」、「_」、「\$」のみ入力できます。
	バージョン番号	指定するバージョン番号、バージョン情報を設定します。 バージョン番号はアプリケーションの開発元に確認してください。 入力必須です。半角数字のみ入力できます。 1以上 2147483647以下で入力してください。 ※整数の値を入力してください。 ※配信するアプリケーションのバージョンより大きい値を設定しないでください。
	URL	アプリケーションの公開先URL情報を設定します。 ファイル選択を使用しない場合は、入力必須です。 200文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみで入力してください。 先頭は「http://」か「https://」にしてください。
	ポップアップ	アプリケーション配信時ポップアップ表示を行う設定をします。

5.2 Wi-Fi

機器の Wi-Fi 設定の有効/無効や、Wi-Fi 接続時のスリープ設定、Wi-Fi の接続先ネットワークの設定を行う機能です。

※機内モード中は、制御は行われません。

5.2.1 Wi-Fi 画面を表示する

Wi-Fi 画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [Wi-Fi]をクリックします。

新規作成

設定

設定 - 編集

1 設定名

2 Wi-Fi
☐有効 ☐無効 ☒変更しない



3 Wi-Fiスリープ設定
☐画面バックライト消灯時にスリープ
☐電源接続時はスリープにしない
☐スリープにしない
☒変更しない

4 ネットワーク一覧

SSID	セキュリティ	パスワード	Hidden	
	なし		<input type="checkbox"/> Hidden	✕

(+ボタンで追加: 5件まで)

✓ 保存

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	Wi-Fi	<ul style="list-style-type: none"> ・有効：Wi-Fi でネットワークに接続することができます。 ・無効：Wi-Fi でネットワークへの接続はできません。 ・変更しない：各機器によって設定されている設定を変更しません。
3	Wi-Fi スリープ設定	<ul style="list-style-type: none"> ・画面バックライト消灯時にスリープ：画面バックライトが消灯されたときにスリープ状態になります。 ・電源接続時はスリープにしない：充電中などの電源接続時はスリープ状態になりません。 ・スリープにしない：スリープ状態になりません。 ・変更しない：各機器によって設定されている設定を変更しません。
4	ネットワーク一覧	<p>登録した SSID のうち最初につながったアクセスポイントと接続します。登録した SSID の接続に全て失敗した場合は、以前接続していた SSID に接続されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSID：SSID を入力します。 ・セキュリティ：設定なし、WEP、WPA/WPA2-PSK のいずれかを選択します。 ・パスワード：SSID のパスワードを入力します。 ・Hidden：Hidden SSID(非公開 SSID)を使用している場合はチェックを入れます。 <p>※[追加]  をクリックすると、入力欄が追加されます。</p> <p>※[削除]  をクリックすると、入力欄が削除されます。</p>

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

5.2.2 Wi-Fi の設定セット入力値

Wi-Fi の設定では以下の入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール
【設定名】		設定セットの名称を指定します。1 文字～30 文字で入力してください。
【Wi-Fi】		端末の Wi-Fi 設定機能の有効/無効を設定します。 ・有効：端末の Wi-Fi 状態を有効にします。 ・無効：端末の Wi-Fi 状態を無効にします。 ・変更しない：端末の Wi-Fi 状態を変更しません。
【Wi-Fi スリープ設定】		端末の Wi-Fi スリープの設定を行います。 ・画面バックライト消灯時にスリープ：端末の Wi-Fi スリープ時、画面バックライト消灯時にスリープ設定を行います。 ・電源接続時はスリープしない：端末の Wi-Fi スリープ時、電源接続時はスリープしないように設定を行います。 ・スリープにしない：端末の Wi-Fi スリープ時、スリープを行わない設定を行います。 ・変更しない：端末の Wi-Fi スリープ時の設定を変更しません。
【ネットワーク一覧】		端末へ設定する Wi-Fi 情報の設定を行います。 +ボタン：設定する Wi-Fi 情報を追加します。5 件まで登録することが可能です。
	SSID	端末へ配布する Wi-Fi 設定の SSID を登録します。 入力必須です。 32 文字以内で入力してください。 半角英数記号で入力してください。
	セキュリティ	端末へ配布する Wi-Fi 設定のセキュリティ方式を登録します。 以下の 3 つから選択できます。 ・なし ・WEP ・WPA/WPA2-PSK
	パスワード	端末へ配布する Wi-Fi 設定のセキュリティパスワードを登録します。 セキュリティの設定によって入力文字数が変わります。 ◆「なし」の場合 空です。 ◆「WEP」の場合 ASCII 文字: 5 文字もしくは 13 文字 16 進数: 10 文字もしくは 26 文字 ◆「WPA/WPA2-PSK」の場合 ASCII 文字: 8 文字以上 63 文字以下 16 進数: 64 文字
	Hidden	端末へ配布する Wi-Fi 設定の Hidden SSID の場合、チェックをします。

5.3 連絡先

機器の電話帳に、連絡先を追加する機能です。

※機器に適用した連絡先の変更や削除を行うことはできません。

5.3.1 連絡先画面を表示する

連絡先画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [連絡先]をクリックします。




項番	対象	説明
1	[新規作成]	クリックすると連絡先リスト入力欄が表示されます。連絡先リスト新規作成方法は「連絡先の設定セットを新規作成する」58 ページを参照してください。
2	[その他の操作]	<ul style="list-style-type: none"> ・全てにチェックを入れる：全ての連絡先リストのチェックボックスにチェックが入ります。 ・全てのチェックをはずす：全ての連絡先リストのチェックボックスからチェックをはずします。 ・一括削除：チェックの入った連絡先リストを削除します。
3	連絡先リスト一覧	登録されている連絡先リスト一覧が表示されます。
4	非対応端末について	クリックすると非対応の Android 端末名が表示されます。
5	[操作]	<ul style="list-style-type: none"> ・複製：連絡先リストを複製します。 ・削除：連絡先リストを削除します。
6	設定	設定名(連絡先リスト名)が表示されます。変更する場合は[編集]をクリックします。
7	インポート・エクスポート	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡先一覧を CSV ファイルからインポート：連絡先を CSV で編集しインポートすることで、まとめて連絡先を編集することができます。 ・連絡先一覧を CSV ファイルでエクスポート：既に登録されている連絡先を CSV ファイルに出力することができます。
8	連絡先一覧	選択した連絡先リストの連絡先一覧が表示されます。

※編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

5.3.2 連絡先の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。本手順で指定できる項目は設定名のみです。具体的な連絡先の入力、次項を参照してください。
入力項目に関しては、「連絡先の設定セット入力値」60 ページを参照してください。

1. 連絡先画面を表示します。
2. [新規作成]  をクリックします。
3. 必要事項を入力して、[保存] をクリックします。

※連絡先を追加する機能は、「Android 端末に登録できるアカウント(「Google」「Microsoft Exchange」等)」「キャリア」「本体」アカウントに対して登録できます。登録先は 1 ヶ所で、次のとおり優先順位があります。



【「登録できるアカウント(同期かつ優先している)」→「キャリア」→ 本体】


「登録できるアカウント」がなければ、「キャリア」アカウント、「キャリア」アカウントが無ければ、「本体」に登録されます。ただし、キャリア、メーカー、端末により優先順位とおりにならない場合もございます。予めご了承ください。


※連絡先を追加する機能は Android 端末に登録できるアカウントを推奨します。「キャリア」アカウントや「本体」では Android 端末によってはグループの設定ができない場合もございます。予めご了承ください。

5.3.3 設定セットに連絡先一覧を登録する

作成済みの設定セットに連絡先一覧を登録します。入力項目に関しては、「連絡先の設定セット入力値」60 ページを参照してください。

1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
2. 連絡先一覧の  をクリックします。
3. 必要事項を入力して、 をクリックします。

※登録済み連絡先の  をクリックすると編集できます。

※登録済み連絡先の  をクリックすると削除できます。

※連絡先は 1,000 件まで登録可能です。

※登録対象とする設定セットを事前に作成しておく必要があります。

5.3.4 連絡先一覧をインポートする

CSV ファイルから連絡先の登録をまとめて行います。

1. 設定セッの一覧より対象とする設定セットをクリックします。
2. [連絡先一覧を CSV ファイルからインポート]をクリックします。
3. [ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。
4. ダウンロードした CSV ファイルを Excel やメモ帳で開き、発信先情報を入力してください。入力が終わしたら保存してファイルを閉じてください。
5. [参照]をクリックして、保存した CSV ファイルを選択してください。
6. [アップロード]をクリックしてください。アップロードが終了したら自動的にインポート確認画面が表示されます。
7. インポート内容に誤りがある場合は、備考欄にエラー内容が表示されます。CSV ファイルを修正し、再度アップロードしてください。
8. [インポート実行]をクリックします。インポート内容に誤りがある場合は[インポート実行]は表示されません。

※インポート対象とする設定セットを事前に作成しておく必要があります。

※CSV ファイルの 1 行目には項目名が表示されています。連絡先の入力は 2 行目から行ってください。

※インポートできるファイルサイズは 10MB までです。

5.3.5 連絡先一覧をエクスポートする

登録されている連絡先を CSV ファイルとしてダウンロードします。エクスポート時の文字コードは日本語環境では SHIFT-JIS(cp932)、その他の環境では UTF-8 となります。

1. 設定セッの一覧より対象とする設定セットをクリックします。
2. [連絡先一覧を CSV ファイルでエクスポート]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。

※エクスポート対象とする設定セットを事前に作成しておく必要があります。

5.3.6 連絡先の設定セット入力値

連絡先の設定では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール	
【設定名】	設定セットの名称を指定します。1文字～30文字で入力してください。	
【姓】	姓、名、姓(フリガナ)、名(フリガナ)のうち、1つ以上は入力必須です。	端末へ設定する連絡先の姓を設定します。 15文字以内で入力してください。 制御文字は入力できません。
【名】		端末へ設定する連絡先の名を設定します。 15文字以内で入力してください。 制御文字は入力できません。
【姓(フリガナ)】		端末へ設定する連絡先の姓(フリガナ)を設定します。 15文字以内で入力してください。 制御文字は入力できません。 全角カタカナ、半角カタカナ、半角空白のみ入力できます。
【名(フリガナ)】		端末へ設定する連絡先の名(フリガナ)を設定します。 15文字以内で入力してください。 制御文字は入力できません。 全角カタカナ、半角カタカナ、半角空白のみ入力できます。
【電話番号】	端末へ設定する連絡先の電話番号を設定します。20文字以内で入力してください。 半角数字、「-」、「+」、「*」、「#」、「,」のみ入力できます。	
【メールアドレス】	端末へ設定する連絡先メールアドレスを設定します。 255文字以内で入力してください。 半角英数字・記号のみ入力できます。 @の前後にそれぞれ1文字以上入力してください。	

5.4 暗号化

機器に標準搭載されている暗号化設定を促す機能です。暗号化設定が有効になるまで、暗号化設定を促すポップアップメッセージを表示します。

※メーカー独自の暗号化設定は非対象です。

※Android3.0以降のみ対応です。

5.4.1 暗号化画面を表示する

暗号化画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [暗号化]をクリックします。

新規作成

設定

設定 - 編集

1 設定名

2 暗号化設定 ※Android3.0以降のみ対応

☐ 暗号化設定を促す

☒ なにもしない

✓ 保存

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	暗号化設定	<ul style="list-style-type: none"> ・暗号化設定を促す：暗号化設定を促すことができます。 ・なにもしない：暗号化設定の変更を行いません。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

5.4.2 暗号化の設定セット入力値

暗号化の設定では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	設定セットの名称を指定します。1文字～30文字で入力してください。
【暗号化設定】	以下より選択します。 ・暗号化設定を促す：端末の暗号化設定を有効化します。 ・なにもしない：端末の暗号化設定を変更しません。 ※Android 3.0以降のみ対応

5.5 コンテンツ配信

コンテンツ配信に関する設定セットを作成します。コンテンツ配信とは、指定したファイルを機器に配信する機能です。アプリケーションのインストールや、資料の配布を行いたい場合にご利用ください。なお、コンテンツ配信を利用するにはコンテンツ配信ポリシー(68 ページ)を事前に登録しておく必要があります。

コンテンツの配信状況は「配信状態」タブから確認できます。配信が失敗したコンテンツを複数選択し、[再配信]ボタンからコンテンツの再配信を行うことが可能です。また、[統計]タブではコンテンツ配信に関する統計(成功数、失敗数など)が閲覧可能です。

※作成した設定セットは目的に応じて以下のいずれかの方法で適用してください。

- ⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 機器」の「機器一括機器設定」一括して複数の機器に設定セットを適用する」
- ⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－機器－設定－単一の機器に設定テンプレートを適用する」

5.5.1 コンテンツ配信画面を表示する

コンテンツ配信画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [コンテンツ配信]をクリックします。


【設定】タブ



項番	対象	説明
1	[新規作成]	クリックすると入力欄が表示されます。
2	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・ 全てにチェックを入れる：全てのチェックボックスにチェックが入ります。 ・ 全てのチェックをはずす：全てのチェックボックスからチェックをはずします。 ・ 一括削除：チェックの入った設定セットを削除します。
3	設定セット一覧	登録されている設定セット一覧が表示されます。
4	設定セット情報	設定セット一覧より選択した設定セット情報が表示されます。 ・ 設定名：設定セットの名称を指定します。 ・ コンテンツ配信ポリシー：配信ポリシーを指定します。複数指定が可能です。編集画面では[+]ボタンからポリシーの追加指定が可能です。この際に最下行に表示される「(+ボタンで追加：X 件まで)」には登録された配信ポリシーの内、設定セットに割り当てられていないポリシー数が表示されます。
5	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・ 複製：設定セットを複製します。 ・ 削除：設定セットを削除します。
6	[編集/保存]	登録されている設定セットを編集、または編集内容を保存することができます。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

【配信状態】タブ



コンテンツ配信1

設定

配信状態

統計

操作 ▾

配信状態

1 状態

配信が完了しました。

2 機器別の状態

配信状態:

☒ 未設定
☒ 一時中断
☒ ダウンロード中
☒ 待機中

☒ 展開・インストール待機
☒ 成功
☒ 失敗
☒ 期限切れ

機器権限:

☐ 再配信可能な機器のみ表示

3 検索: 機器名

4 再配信

5 CSVダウンロード

6

選択中: 1 件 / 条件に該当: 1 件

<input type="checkbox"/>	機器名	ポリシー名	配信状態	詳細
<input checked="" type="checkbox"/>			成功	詳細

項番	対象	説明
1	状態	機器への配信中状態についてメッセージを表示します。
2	機器別の状態	配信状態・機器権限をチェックボックスで選択します。「未設定」「成功」など状態に該当する機器のみ表示されます。 配信状態：コンテンツの配信状態が表示されます。各状態については「各配信状態について」65 ページを参照してください。 機器権限：本機能をご利用いただく場合は、機器にユーザーもしくは組織の設定が必要です。 ログインしたユーザーが機器の再配信が行える権限を持っている場合に、「再配信可能な機器のみ表示」チェックボックスを選択すると再配信を行える機器のみが画面に表示されます。 ユーザー種別/対象機器の所属組織における権限としては管理者もしくは操作権限以上が必要となります。
3	検索	機器名で検索を行います。「機器別の状態」と併用して機器を選択します。
4	再配信	チェックボックスで選択した機器に対して再配信を行います。 ※再配信直後のコンテンツの「配信状態」は「未設定」となります
5	CSV ダウンロード	コンテンツ配信状態を CSV で出力します。「機器別の状態」の条件に該当する機器のみ出力されます。
6	配信状態	機器ごとの配信状態が表示されます。再配信を行う機器のチェックボックスを選択します。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

各配信状態について


コンテンツの配信状態は以下のように表示されます。端末が以下の配信状態にある際に「再配信」ボタンによるコンテンツ再配信が行われた際の挙動についても以下を参照してください。

状態名	状態詳細	再配信時の挙動
未設定	コンテンツ配信設定が端末に設定されていません。	再配信されたコンテンツの配信状態が「未設定」となるため、状態は変化しません。
待機中	コンテンツ配信設定が端末に設定されていますが、ダウンロードは開始されていません。	配信状態は再び「未設定」に移行し、機器との同期後に再び「待機中」となります。現在ダウンロード中・展開中のコンテンツは端末から削除されます。
ダウンロード中	コンテンツ配信中です。	
一時中断	時間指定により、配信が中断しています。	
展開・インストール待機	ダウンロードしたコンテンツを展開中、またはインストール中です。	配信状態は再び「未設定」に移行します。「コンテンツ配信ポリシー」の「コンテンツファイルの上書き」設定により、再配信されたファイルが上書きされます。
成功	コンテンツ配信が成功しました。	
失敗	ストレージ空き容量不足、インストール失敗、ファイル保存失敗、ZIP 展開失敗によりコンテンツ配信が失敗しました。 ※ストレージ空き容量不足：端末に配信ファイルサイズ +100MB を目安とした容量を確保する必要があります。確保後に再配信を行ってください。 ※インストール失敗：端末利用者がインストールを「キャンセル」した際にも発生します。また、同一のパッケージ名を持つ APK が既にインストール済である場合はインストールが失敗します。 ※ファイル保存失敗：ファイルの保存パスが読取専用状態に設定されている際に発生します。	配信状態が「未設定」に再移行するため、コンテンツが再配信されます。しかし失敗の原因が解決されない場合は配信が失敗します。左記の原因を調査してから再配信を行ってください。
期限切れ	「日時指定」で指定された期間内にコンテンツ配信が行われなかったため、配信が終了しています。	期限を過ぎたコンテンツ配信の配信状態は「期限切れ」となります。再配信を行う場合は、再度日時設定を未来の日時に設定し直す必要があります。

※コンテンツ配信状態が変更されるのは、端末と管理サイト間の同期処理が行われた時になります。このため、コンテンツ配信が終了しても、同期が発生しない場合は配信状態は「ダウンロード中」や「展開・インストール待機」状態として表示されます。

※APK ファイル配信時は、「配信条件」に指定されたバージョン以降のアプリが既にインストールされている場合、ダウンロードは行われません。同様に、APK ファイル以外のファイル(ZIP ファイル含む)を配布する場合、「保存場所に同名のファイルが存在する場合は上書き保存する」オプションが有効な場合は、ダウンロードは行われません。この場合の配信状態は「成功」になります。

【統計】タブ


コンテンツ配信1

設定
配信状態
統計
操作 ▾

統計

1 設定対象

機器	ポリシー
1	2

2 配信が終了している機器

成功	失敗
0	0

3 現在配信しているコンテンツ

未設定	待機中	ダウンロード中	一時中断	期限切れ	展開・インストール待機
0	1	0	0	0	0

項番	対象	説明
1	設定対象	コンテンツ配信ポリシーを設定している機器とコンテンツ配信ポリシーの数を表示します。
2	配信が終了している機器	配信が成功している機器数および失敗している機器数を表示します。
3	現在配信しているコンテンツ	現在配信しているコンテンツ配信ポリシー数を状態別に表示します。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

5.5.2 コンテンツ配信状況を確認する

「配信状態」タブ

【状態】

機器への配信中状態についてメッセージを表示します。

【機器別の状態】

配信状態・機器権限をチェックボックスで選択します。「未設定」「成功」など状態に該当する機器のみ表示されます。

【配信状態】

コンテンツの配信状態が表示されます。各状態については「各配信状態について」65 ページを参照してください。

【機器権限】

「再配信可能な機器のみ表示」を選択して、再配信可能な機器のみを表示します。詳細は「機器権限」65 ページを参照してください。

【CSV ダウンロード】

コンテンツ配信状態を CSV で出力します。「機器別の状態」の条件に該当する機器のみ出力されます。

「統計」タブ

【設定対象】

コンテンツ配信ポリシーを設定している機器とコンテンツ配信ポリシーの数を表示します。

【配信が終了している機器】

配信が成功している機器数および失敗している機器数を表示します。

【現在配信しているコンテンツ】

現在配信しているコンテンツ配信ポリシー数を状態別に表示します。

5.5.3 コンテンツ配信の設定セット入力値

コンテンツ配信の設定では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール	
設定名	設定セットの名称を指定します。 1 文字～30 文字で入力してください。	
コンテンツ配信ポリシー	本設定セットで利用するコンテンツ配信ポリシーを指定します。複数指定が可能です。 ■をクリックすることで、入力行が追加されます。 ✕をクリックすることで、入力行が削除されます。	
	ポリシー名	■をクリックするとコンテンツ配信ポリシー(68 ページ)で登録したポリシーが表示されます。利用するポリシーを指定してください。

5.6 コンテンツ配信ポリシー

「コンテンツ配信(63 ページ)」でコンテンツを配信する場合は、配信対象コンテンツや関連する情報を事前に登録しておく必要があります。当画面では、これらの事前登録を行います。また、特定の曜日または日付に配信を行うスケジュールの日時設定や時刻設定が可能です。当画面では、これらの事前登録を行います。

※対象のファイルの拡張子と種類に制限はありませんが、配信先の端末と互換性のあるコンテンツであることをご確認ください。また、デバイスマネジメント エージェントをコンテンツ配信でアップデートすることはできません。

※「時間設定」、「日時指定」を指定する際、「開始時刻」または「開始日時」のみを指定することはできません。また、「中断時刻」、「中断日時」は、「開始時刻」、「開始日時」よりも1時間以上後の値を指定する必要があります。

※「時間設定」の「開始時刻」は最大「23:59」まで、「中断時刻」は最大「24:59」までです。

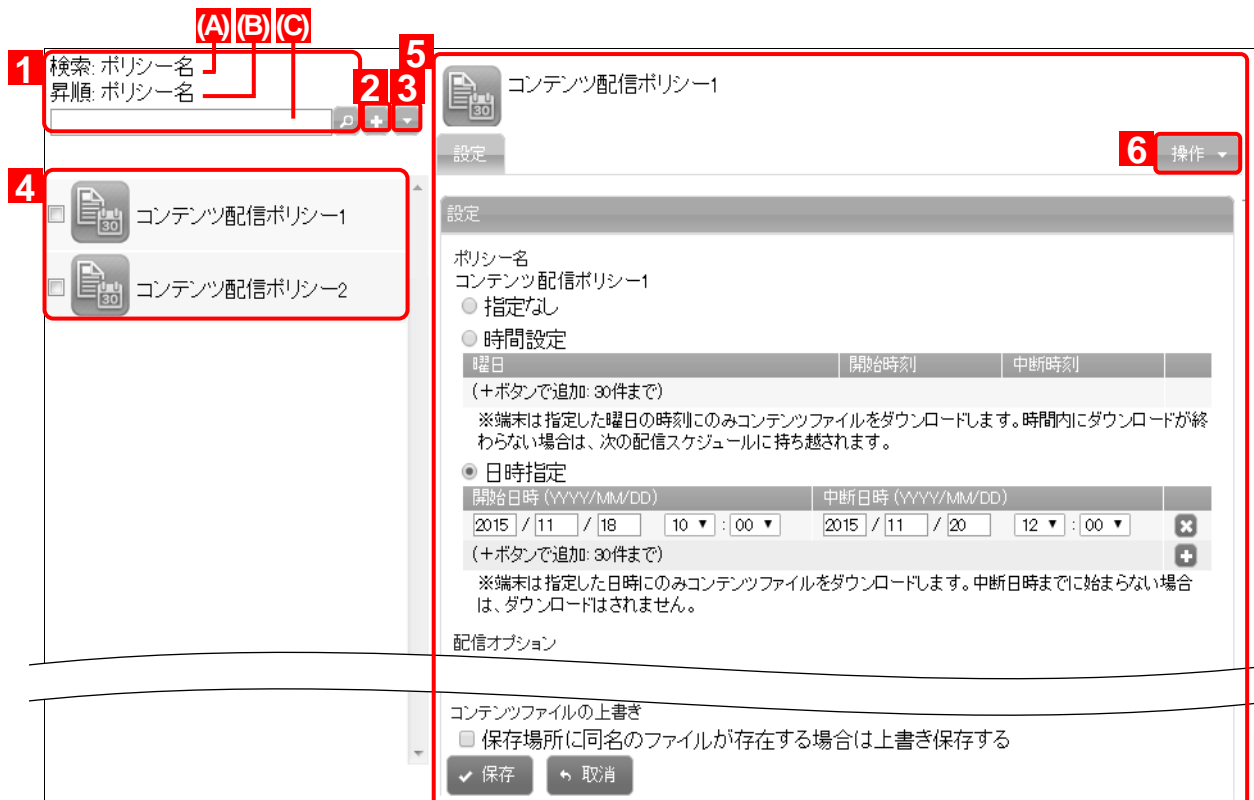
※「日時指定」の「開始時刻」は最大「23:59」まで、「中断時刻」は最大「23:59」までです。

※日時指定の配信スケジュールは、対象端末の日時設定に依存します。端末の日時設定が正確でない場合、正しく配信が行えない、または既に配信が完了しているはずのファイルが再配信されてしまうおそれがあります。

5.6.1 コンテンツ配信ポリシー画面を表示する

コンテンツ配信ポリシー画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [コンテンツ配信ポリシー]をクリックします。





項番	対象	説明
1	検索/並び替え	(A)には検索対象項目、(B)には並び替えの対象項目が表示されます。検索する場合は、検索するキーワードを(C)に入力し、虫眼鏡アイコンをクリックします。
2	[新規作成]	クリックすると入力欄が表示されます。
3	[その他の操作]	<p>クリックすると以下のメニューが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全てにチェックを入れる：全てのチェックボックスにチェックが入ります。 ・ 全てのチェックをはずす：全てのチェックボックスからチェックをはずします。 ・ 一括削除：チェックの入ったコンテンツ配信ポリシーを削除します <p>・ 並び替え 昇順：ポリシー名を昇順で表示します。</p> <p>・ 並び替え 降順：ポリシー名を降順で表示します。</p>
4	コンテンツ配信ポリシー一覧	登録されているコンテンツ配信ポリシー名一覧が表示されます。
5	コンテンツ配信ポリシー情報	<p>コンテンツ配信ポリシー一覧より選択したコンテンツ配信ポリシー情報が表示されます。配信対象ファイルの名前、MD5 情報などの詳細情報の確認を行うことが可能です。また、「コンテンツファイル」の右の[ダウンロード]ボタンから、対象ファイルのダウンロードを行うことが可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポリシー名：ポリシー名が表示されます。 ・ スケジュール：配信の時間設定が表示されます。曜日、日時、開始時刻、中断時刻の指定が可能です。 ・ 配信オプション：「なにもせずに指定の場所に保存する」「ZIP ファイルを展開して指定の場所に保存する」「APK ファイルのインストールを端末使用者に促す」「APK ファイルを自動的にインストールする」のいずれかのオプションが指定可能です。 ・ コンテンツファイル：配信対象のファイルが表示されます。配信先の端末でインストールが失敗する場合やファイルが表示されない場合は「ダウンロード」ボタンからコンテンツファイルをダウンロードし、ファイルを確認してください。 ・ MD5：配信対象ファイルのバージョン管理に使用される MD5 が表示されます。 ・ 通知：通知設定が表示されます。 <p>「なにもせずに指定の場所に保存する」「ZIP ファイルを展開して指定の場所に保存する」の選択時のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンテンツファイルの保存フォルダー：ダウンロードフォルダからの相対パスを指定します。 ・ コンテンツファイルの上書き：保存場所に同名のファイルが存在する場合に上書き保存するか指定します。 <p>「APK ファイルのインストールを端末使用者に促す」の選択時のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アプリケーション名：アプリケーション名を表示します。 ・ 配信条件：指定されたパッケージ名とバージョン番号のアプリが既にインストールされている場合、アプリはインストールされません。
6	[操作]	<p>クリックすると以下のメニューが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 複製：コンテンツ配信ポリシーを複製します。 ・ 削除：コンテンツ配信ポリシーを削除します。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セ
ット作成方法」を参照してください。

5.6.2 コンテンツ配信ポリシーの入力値

コンテンツ配信ポリシーの設定では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
ポリシー名	コンテンツ配信ポリシーの名称を指定します。1文字～30文字で入力してください。
スケジュール	<p>配信スケジュールを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定なし：配信スケジュールを指定しません。 ・時間設定：指定した曜日の特定時刻に配信するスケジュールを指定します。時刻には、開始時刻と中断時刻を指定します。 ・日時指定：指定したカレンダーの日付に配信するスケジュールを指定します。開始日時、中断日時の設定を行います。 <p>※をクリックすることで、入力行が追加され、をクリックすることで、入力行が削除されます。30件まで設定することができます。</p>
	<p>時間設定</p> <p>曜日：配信を行う曜日を指定します。複数指定が可能です。</p> <p>開始時刻：配信を開始する時刻を指定します。曜日と合わせて指定した時刻に配信が開始します。</p> <p>中断時刻：配信を中断する時刻を指定します。中断時刻までに配信が終了しなかった場合は、スケジュールに沿って、次の配信時に続きから再開されます。</p>
	<p>日時指定</p> <p>開始日時 (YYYY/MM/DD)：配信を開始する日時を指定します。</p> <p>中断日時 (YYYY/MM/DD)：配信を中断する日時を指定します。</p>
	<p>※「時間設定」、「日時指定」を指定する際、「開始時刻」または「開始日時」のみを指定することはできません。また、「中断時刻」、「中断日時」は、「開始時刻」、「開始日時」よりも1時間以上後の値を指定する必要があります。</p> <p>※「時間設定」の「開始時刻」は最大「23:59」まで、「中断時刻」は最大「24:59」までです。</p> <p>※「日時指定」の「開始時刻」は最大「23:59」まで、「中断時刻」は最大「23:59」までです。</p> <p>※中断時刻なしにコンテンツ配信を行うには「スケジュール」で「指定なし」を指定します。選択した曜日すべてに対して中断なしに配信を行うには、開始時刻に「0:00」、中断時刻に「24:00」を指定します。</p> <p>※開始時刻のみを指定することはできません。配信開始時刻を指定する際は、開始時刻が対象の曜日すべてに適用されます。例えば設定完了後の2時間後の16:00からコンテンツ配信を行いたい場合、「開始時刻」を「16:00」に設定します。この際は配信設定を行った当日のみでなく、配信対象のすべての曜日において「16:00」まで配信が開始されない点にご注意下さい。</p>
配信オプション	<p>配信後の挙動を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なにもせずに指定の場所に保存する：配布のみを行います。それ以外のことは何も行いません。 ・ZIP ファイルを展開して指定の場所に保存する：配布対象が ZIP ファイルの場合、展開後のファイルを配布します。 ・APK ファイルのインストールを端末使用者に促す：配布対象が APK ファイルの場合、インストール確認画面を表示します。 ・APK ファイルを自動的にインストールする：配布対象が APK ファイルの場合、自動的にインストールします。
コンテンツファイル	<p>配信対象ファイルを指定します。[参照]ボタンをクリックして、アップロードするファイルを選択してください。</p> <p>対象のファイルの拡張子と種類に制限はありませんが、配信先の端末と互換性のあるコンテンツであるかご確認ください。配信先の端末でインストールが失敗する場合やファイルが表示されない場合は「ダウンロード」ボタンからコンテンツファイルをダウンロードし、ファイルを確認してください。</p>
通知(※1)	チェックすると端末の通知領域を利用して配信完了時に通知を行います。
コンテンツファイルの保存フォルダー	<p>端末側の配信ファイル保存場所を指定します。ダウンロードフォルダからの相対パスを指定してください。「/(スラッシュ)」のみを指定した場合は、ダウンロードフォルダの直下に保存されます。相対パスを指定しなかった場合「/(スラッシュ)」と同じ動作となり、ダウンロードフォルダの直下に保存されます。画面には「(指定なし)」と表示されます。</p>
コンテンツファイルの上書き	<p>チェックすると保存場所に同名のファイルが存在する場合に上書き保存します。チェックしなければ、同名ファイルが存在する場合、そのファイルの配信を行いません。ただし例外として、前述の【配信オプション】に「ZIP ファイルを展開して指定の場所に保存する」を指定した場合は、同名のフォルダおよびファイルはすべて削除され展開されます。ご注意ください。</p>
アプリケーション名(※2)	<p>APK ファイルのアプリケーション名を指定します。ユーザーにインストールを促す画面などで表示されるアプリケーション名を記入してください。</p> <p>アプリケーション名は1～60文字以内にしてください。</p>

項目名	ルール
配信条件(※2)	チェックを入れた場合、指定されたパッケージ名とバージョン番号のアプリが既にインストールされてる場合、アプリはインストールされません。
パッケージ名(※2)	配信する APK のパッケージ名を記入します。パッケージ名は半角英数字とピリオド「.」、アンダースコア「_」、ドル記号「\$」で入力してください。
バージョン番号(※2)	配信する APK のバージョン番号を記入します。バージョン番号は半角数字で入力してください。

(※1)「配信オプション」で「APK ファイルのインストールを端末使用者に促す」を選択した場合は、この項目は表示されません。

(※2)「配信オプション」で「APK ファイルのインストールを端末使用者に促す」または「APK ファイルを自動的にインストールする」を選択した場合に設定する項目です。

6 Android - Device Owner Mode(DOM)

アプリに Device Owner という特別な権限を持たせることで、より高度な設定を可能にする状態のことを指します。管理サイトでは、Device Owner Mode 化するための設定を行います。

作成可能な設定セットは以下のとおりです。

設定項目名	ページ
NFC キットティング設定	73
セキュリティ設定(DOM)	75

※詳細については、「Device Owner Mode 導入マニュアル」を参照してください。

※Android 6.x 以降の NFC 対応端末のみの機能となります。

※親機となる端末のエージェントが古いバージョンの場合、キットティングに失敗してしまう恐れがあります。あらかじめ同期を行ってエージェントを最新にした上でキットティングを開始してください。

6.1 NFC キットティング設定

NFC を用いた Device Owner Mode 化のための設定を行います。

6.1.1 NFC キットティング設定画面を表示する

NFC キットティング設定画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [NFC キットティング設定]をクリックします。

新規作成

設定

設定 - 編集

1 設定名

2 NFCキットティング設定

☐ 有効 ☒ 無効

※設定を有効にした端末のエージェントのメニューに「NFCキットティング」の項目が表示されます。
 ※有効にした端末を親機とし、親機から「NFCキットティング」を選択し、初期化した子機に対してキットティングを行ってください。

※エージェント側の情報が古い場合、キットティングに失敗してしまう恐れがありますので、同期を行ってからキットティングを開始してください。

※Android8.0以降の端末ではDevice Owner Modelにすることはできません。

✓ 保存

項番	対象	説明
1	設定名	好きな名前を入力します。
2	NFC キットティング設定	<ul style="list-style-type: none"> ・有効：NFC キットティング設定を有効にします。 ・無効：NFC キットティング設定を無効にします。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

6.1.2 NFC キットティング設定の入力値

NFC キットティング設定では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	設定セットの名称を指定します。1 文字～30 文字で入力してください。
【NFC キットティング設定】	<p>端末の NFC キットティング設定の有効/無効設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有効：NFC キットティング設定を有効に設定します。有効にした端末は親機となり、親機から初期化した子機に対してキットティングを行うことができます。 ・無効：NFC キットティング設定を無効に設定します。

6.2 セキュリティ設定(DOM)

Device Owner Mode 化された端末に対して、提供元不明アプリのインストール、開発者向けオプション、スクリーンショットの撮影、アカウントの制限、ファクトリーリセット、セーフブート、ステータスバーなどの許可／禁止、制限を行う必要がある場合に、本機能から設定セットの作成を行います。

6.2.1 セキュリティ設定(DOM)画面を表示する

セキュリティ設定画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [セキュリティ設定(DOM)]をクリックします。

新規作成

設定

設定 - 編集

1 設定名

2 提供元不明アプリのインストール(※)
☐ 許可 ☒ 禁止

3 開発者向けオプション(※)
☐ 許可 ☒ 禁止

※ Android Enterprise に登録している企業の端末ではデフォルトで禁止が設定されています。それぞれの機能を有効化したい場合は「許可」を設定してください。

4 スクリーンショットの撮影
☒ 許可 ☐ 禁止

5 アカウント制限
☒ 制限しない ☐ 制限する

6 ファクトリーリセット
☒ 許可 ☐ 禁止

7 セーフブート
☒ 許可 ☐ 禁止

8 ステータスバー
☒ 有効にする ☐ 無効にする

✓ 保存

項番	対象	説明
1	設定名	設定セットの名称を指定します。
2	提供元不明アプリのインストール	Google Play 以外の提供元不明アプリのインストールを禁止できます。 ・許可：提供元不明アプリのインストールを許可にします。 ・禁止：提供元不明アプリのインストールを禁止にします。
3	開発者向けオプション	開発者モードへの変更を禁止できます。 ・許可：開発者向けオプションを許可にします。 ・禁止：開発者向けオプションを禁止にします。
4	スクリーンショットの撮影	スクリーンショットの撮影を禁止できます。 ・許可：スクリーンショットの撮影を許可にします。 ・禁止：スクリーンショットの撮影を禁止にします。
5	アカウント制限	Google アカウント、Exchange 等のメールアカウント追加を制限できます。 ・制限しない：アカウント制限をしません。 ・制限する：アカウント制限をします。
6	ファクトリーリセット	ユーザーによる端末の初期化を禁止できます。 ・許可：ファクトリーリセットを許可にします。 ・禁止：ファクトリーリセットを禁止にします。 ※リモートワイプを行った場合、ファクトリーリセットの禁止設定有無に関わらず、端末が初期化されます。
7	セーフブート	セーフモードによる起動を禁止できます。 ・許可：セーフブートを許可にします。 ・禁止：セーフブートを禁止にします。
8	ステータスバー	ステータスバーの利用を禁止し、ステータスバーで設定できる Wi-Fi や Bluetooth 等の設定変更、通知領域の操作を防ぎます。 ・有効にする：ステータスバーを有効にします。 ・無効にする：ステータスバーを無効にします。 ※ご使用の端末が Android7.0 以降の場合、「無効にする」に設定しても、端末によっては、スクリーンロック画面に通知が表示されたときに通知領域の操作ができます。この現象は、端末の仕様に依存するため、あらかじめご了承ください。

※新規作成、編集、削除、複製方法は、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－設定セット作成方法」を参照してください。

6.2.2 セキュリティ設定(DOM)の入力値

セキュリティ設定では以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	設定セットの名称を指定します。 1文字～30文字で入力してください。
【提供元不明アプリのインストール】	Google Play 以外の提供元不明アプリのインストールを禁止できます。 以下より選択します。 ・許可 ・禁止
【開発者向けオプション】	開発者モードへの変更を禁止できます。 以下より選択します。 ・許可 ・禁止
【スクリーンショットの撮影】	スクリーンショットの撮影を禁止できます。 以下より選択します。 ・許可 ・禁止
【アカウント制限】	Google アカウント、Exchange 等のメールアカウント追加を制限できます。 以下より選択します。 ・制限しない ・制限する
【ファクトリーリセット】	ユーザーによる端末の初期化を禁止できます。 以下より選択します。 ・許可 ・禁止
【セーフブート】	セーフモードによる起動を禁止できます。 以下より選択します。 ・許可 ・禁止
【ステータスバー】	ステータスバーの利用を禁止し、ステータスバーで設定できる Wi-Fi や Bluetooth 等の設定変更、通知領域の操作を防ぎます。 以下より選択します。 ・有効にする ・無効にする